

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

	<p><b>アジールと国家：中世日本の政治と宗教</b></p> <p>(筑摩選書) 伊藤正敏</p> <p>NDC:210.4</p> <p>2020/02 筑摩書房 336p 46 19cm</p> <p>ISBN:9784480016874 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>世俗の権力の及ばない避難所、聖なる別天地としてのアジールは、人々を魅了し歴史の中で大きな役割を果たしてきた。比叡山、高野山、東大寺などは、個人支配者を持たないまま、国家権力と鋭く対峙する存在であった。また、天皇を超える権威を仏神に認めた彼らは、時には内裏にまで押し入って自らの要求を押し通した。寺社勢力を中心に無名の大衆の実力を探る。日本中世を舞台に、アジールの在り方と意義、盛衰を跡付ける一冊。</p>	<p>税込¥1,870</p> 
	<p><b>徳川の幕末：人材と政局</b></p> <p>(筑摩選書) 松浦玲</p> <p>NDC:210.58</p> <p>2020/04 筑摩書房 282p 46 19cm</p> <p>ISBN:9784480016928 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>幕末維新の各局面においては、朝廷、各雄藩、諸外国等、さまざまな政治勢力が時に前面に表れ、時に後景に引きながら、歴史を動かした。その中でも、最後の瞬間まで最も力を持ち、政局の中心にあったのは、言うまでもなく徳川幕府である。家定、家茂、慶喜ら将軍の器量、阿部正弘、堀田正睦、井伊直弼ら老中の力量、松平春嶽、勝海舟、大久保一翁らの実力が、歴史のどの場面で、どのような役割を果たしたのか。綿密な考証に基づいて描く。</p>	<p>税込¥1,870</p> 
	<p><b>皇国日本とアメリカ大権：日本人の精神を何が縛っているのか？</b></p> <p>(筑摩選書) 橋爪大三郎</p> <p>NDC:155</p> <p>2020/03 筑摩書房 285p 46 19cm</p> <p>ISBN:9784480016942 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>戦前、多くの日本人が「国体」思想に飲み込まれ、戦争に動員されていった。なぜ日本人は、この流れに抗えなかったのか？総力戦に敗北した後、天皇は連合国軍最高司令官に「従属」する形となった。実際にはアメリカ大権となっているにもかかわらず、鋭敏な知識人ですら、それを直視できずにいるのはなぜか？戦時期に教育の場で広く読まれ、国民に深甚な影響を与えた『國體の本義』の解説をとおして、戦前・戦後を貫流する日本人の精神の「無意識」を問う。ふたたび日本が内閉しようとしている今、来し方行く末を考えるに際し、必読の書！</p>	<p>税込¥1,760</p> 
	<p><b>明智光秀と細川ガラシャ：戦国を生きた父娘の虚像と実像</b></p> <p>(筑摩選書) 井上章一：呉座勇一</p> <p>NDC:289.1</p> <p>2020/03 筑摩書房 278p 46 19cm</p> <p>ISBN:9784480016959 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>謀の武将・明智光秀と悲劇のヒロイン細川ガラシャ。戦国時代を生きた父娘は、どのような人物だったのか。光秀が織田信長を裏切った本能寺の変の背景には、何があったのか。キリスト教を学び改宗した娘は、石田三成率いる西軍の人間になることを拒絶して死に追い込まれた「気高い美女」とされるが、本当の彼女はどのような才覚、性格、容顔の持ち主だったのか。明智家の状況、当時の布教の様子、イエズス会の置かれた立場や日本戦略、近代化の過程で変容したイメージなど幅広い観点から、彼らの実像を浮かび上がらせる。</p>	<p>税込¥1,760</p> 
	<p><b>知的創造の条件：AI的思考を超えるヒント</b></p> <p>(筑摩選書) 吉見俊哉</p> <p>NDC:002</p> <p>2020/05 筑摩書房 256p 46 19cm</p> <p>ISBN:9784480016966 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>なにが知的創造を可能にするのか？批判的読書や「問い」の発見などの方法論を示す。それだけではなく、社会のデジタル化が進み、知識が断片化し、大学をはじめ社会全般で知的創造のための社会的条件が弱体化する現在、各人の知的創造を支える図書館や大学、デジタルアーカイブといった社会的基盤はどうあるべきか。AIによる知的労働の代替など、テキスト状況が到来する可能性が高まるなか、知的創造をいかにして奪還するか。知的創造の条件を、多角的かつ原理的に論じた渾身の書！</p>	<p>税込¥1,760</p> 
	<p><b>プロ野球VS.オリンピック：幻の東京五輪とベーブ・ルース監督計画</b></p> <p>(筑摩選書) 山際康之</p> <p>NDC:783.7</p> <p>2020/04 筑摩書房 224p 46 19cm</p> <p>ISBN:9784480016973 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>一九三一年、東京六大学対全米選抜の日米野球が成功すると、読売新聞社長の正力松太郎は三六年からのプロ野球発足を決意。同じ頃、ベルリン五輪での野球競技が決まり、アメリカはベーブ・ルースを代表監督にする発表。さらに東京が五輪開催に名乗りをあげ、選手たちが五輪出場かプロ野球かで悩むなか、各球団による争奪戦が始まる。沢村栄治ら有望な若者はいかなる運命の選択をしたか。プロ野球草創期の秘話を掘り起こす。</p>	<p>税込¥1,650</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

	<p><b>3・11後の社会運動：8万人のデータから分かったこと</b></p> <p>(筑摩選書) 樋口直人：松谷満 2020/06 筑摩書房 ISBN:9784480016980</p> <p>NDC:309.021 219 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>ピーク時には一カ月で延べ〇〇万人が参加した反原発デモ。国会前や各地で繰り広げられた反安保法制デモ。一九七〇年以降、社会運動が退潮していった日本で、三・一一後に大規模デモが復活したのはなぜか。どのような人が、どのようなきっかけで参加したのか。大規模デモが発生し持続し得た理由を、約八万人のデータを用いて多角的に分析し、新たな知見を導き出す。三・一一後の大規模デモと、これからの社会運動を考える上で示唆に富む労作の誕生！</p>	<p>税込¥1,650</p> 
	<p><b>アジア主義全史</b></p> <p>(筑摩選書) 嵯峨隆 2020/07 筑摩書房 ISBN:9784480016997</p> <p>NDC:319.102 304 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>江戸中期～明治期日本に起源を持つアジア主義は、中国などアジア諸国と連帯して西洋列強に抵抗し、アジア解放を目指すものだった。それは一九三〇年代以降の日本のアジア侵略に名目を与えてしまった。だが大東亜共栄圏の思想は輿論論に形を借りた脱亜論であり、決してアジア主義ではない。戦前の中国のアジア主義や、現代日本の「東アジア共同体論」などに形を変えた左右両極のアジア主義的言説にも注目。真のアジア共生への道を探るべくアジア主義の全貌を描き、その再評価を試みる。</p>	<p>税込¥1,870</p> 
	<p><b>いま、子どもの本が売れる理由</b></p> <p>(筑摩選書) 飯田一史 2020/07 筑摩書房 ISBN:9784480017109</p> <p>NDC:019.5 353 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>子どもの本は、すごい！おしりたんてい、ヨシタケシンスケ、サバイバルetc.本の売れない時代に、子どもの本はなぜ売れる？直近20年で14歳以下人口は約200万人減ったが、児童書は市場規模を堅持、本を読まない子どもは減少し、小学生の読書冊数は倍増！「子どもの本離れ」はいかにして終わったのか？終戦から現代までの子どもの本をめぐる官民の施策をたどり直し、近年のヒット作についての分析・取材を通じていま子どもの本市場が賑わう秘密を探る！</p>	<p>税込¥1,980</p> 
	<p><b>保守思想とは何だろうか：保守的自由主義の系譜</b></p> <p>(筑摩選書) 桂木隆夫 2020/12 筑摩書房 ISBN:9784480017116</p> <p>NDC:311.4 288 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>保守の本懐は自由主義にあり！デヴィッド・ヒューム、福澤諭吉、フランク・ナイトの思想をたどり、「保守主義×自由主義＝保守的自由主義」の可能性を問う。</p>	<p>税込¥1,760</p> 
	<p><b>『往生要集』入門：人間の悲愴と絶望を超える道</b></p> <p>(筑摩選書) 阿満利磨 2021/01 筑摩書房 ISBN:9784480017123</p> <p>NDC:188.63 288 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「地獄」と「極楽」を描き出した『往生要集』は、現代の宇宙論の常識をはるかに超えた無限の時空間において、人間の悲愴と絶望を超える道を見いだした。著者源信は、人間の心底を流れる真実を求める強い願いを素早くにしようとしたのだ。法然と親鸞が揺るぎなきものとした浄土仏教の源流となる世界観を、やわらかに案内する。不条理や問題に直面し、それを解決、納得しようともがきながら生きている私たちにとって示唆に富む決定版入門書である。</p>	<p>税込¥1,760</p> 
	<p><b>安倍 vs プーチン：日ロ交渉はなぜ行き詰まったのか？</b></p> <p>(筑摩選書) 駒木明義 2020/08 筑摩書房 ISBN:9784480017130</p> <p>NDC:319.103 398 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「北方領土」問題の解決を外交上の重要課題に掲げた第二次安倍政権。日本政府が従来、繰り返し主張してきた四島返還から、歯舞、色丹の二島返還へ大きく方針転換しても、北方四島はロシア領との主張を崩さないプーチン大統領。ロシアはなぜ、日ソ共同宣言すら公然と踏みこむようになったのか？安倍政権はロシアとの交渉の、どこで躓いたのか？そもそも「北方領土」問題はいつ、どのように生まれたのか？綿密な取材と膨大な資料により日ロ交渉の実態を明らかにした、迫真のドキュメント！</p>	<p>税込¥1,980</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>13 飯田哲也・金子勝</p> 	<p><b>メガ・リスク時代の「日本再生」戦略：「分散革命ニューディール」という希望</b></p> <p>(筑摩選書) 飯田哲也：金子勝</p> <p>NDC:501.6</p> <p>2020/09 筑摩書房 214 p 46 19cm</p> <p>ISBN:9784480017147</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>巨大リスクに直面する現代日本。いつ収束するのか見通せない新型コロナウイルスの世界的流行。記録的な豪雨による深刻な水害など地球規模の気候変動。情報通信分野の立ち遅れと情報セキュリティの不備。衰退する一方の産業をどう立て直し、雇用創出をどう実現するか？私たちの暮らしを守るには何が必要か？世界的な潮流となっている再生可能エネルギーを軸とする、地域分散ネットワーク型の経済社会へと転換することで、「ガラパゴス・ニッポン」から脱却できると説く希望の書！</p>	<p>税込¥1,650</p> 
<p>14 森岡正博</p> 	<p><b>生まれてこないほうが良かったのか？：生命の哲学へ！</b></p> <p>(筑摩選書) 森岡正博</p> <p>NDC:102</p> <p>2020/10 筑摩書房 353 p B6 19cm</p> <p>ISBN:9784480017154</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「生まれてこないほうがよかった」という思想は、人類二〇〇〇年の歴史をもつ。本書では、古代ギリシアの文学、古代インドの宗教哲学、フッタの原始仏教、ゲーテやショーペンハウアー、ニーチェなど近代の文学と哲学、そして「誕生害悪論」を説くベネターら現代の分析哲学を取り上げ、徹底的に考察。人間がこの世に生まれてくることは誤りであり、生まれてこないようにしたほうがよいとする反出生主義を世界思想史の中に位置づけ、その超克の道を探っていく。反出生主義の全体像が分かる本邦初の書である。</p>	<p>税込¥1,980</p> 
<p>15 園田耕司</p> 	<p><b>独裁と孤立のアメリカ・ファースト</b></p> <p>(筑摩選書) 園田耕司</p> <p>NDC:319.53</p> <p>2020/09 筑摩書房 331 p 46 19cm</p> <p>ISBN:9784480017161</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「アメリカ・ファースト」を信条とするトランプ米大統領。自国の利益を最優先するその姿勢は、多くの国民に支持された。自分とは相容れない閣僚を次々と更迭して独裁体制を築き、国際秩序の安定に關心がなく、同盟国を軽視し、自由貿易に消極的、移民に対し排外主義的な姿勢を取るトランプ大統領。超大国トップが掲げるアメリカ・ファーストとは何か？米国内の分断が深まり、国際社会に混乱が生じて、少なからぬ米国民が支持するのはなぜか？政府高官や研究者などへの多数の取材と膨大な資料から、その真実に迫る！</p>	<p>税込¥1,870</p> 
<p>16 山本貴光</p> 	<p><b>記憶のデザイン</b></p> <p>(筑摩選書) 山本貴光</p> <p>NDC:141.34</p> <p>2020/10 筑摩書房 224 p 46 19cm</p> <p>ISBN:9784480017178</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>記憶、良好ですか？フェイクニュースが飛び交い、かつてない速さで記憶が書き換えられていく現代社会。変容し続ける情報環境のなかで、自分の記憶をどう世話すればいいのか？「知識OS」「知識アトラス」など創見にみちた知的愉楽の書！</p>	<p>税込¥1,650</p> 
<p>17 ジョエル・ベスト</p> 	<p>原題:Social Problems,third edition (Best,Joel)</p> <p><b>社会問題とは何か：なぜ、どのように生じ、なくなるのか？</b></p> <p>(筑摩選書) ジョエル・ベスト：赤川学</p> <p>NDC:360</p> <p>2020/11 筑摩書房 372 p 46 19cm</p> <p>ISBN:9784480017185</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>人種差別や犯罪、気候変動や性差別…。いかなる社会問題も、元から存在したのではない。「これは問題だ！」と声を上げる人が現れ、それに同意する人が出てくることで、初めて問題化されてゆく。こうした観点から、社会問題はなぜ、いかにして生じ、やがてなくなるのかを、六つの段階に分けて解説。日本の人文社会科学に多大な影響を与えた構築主義をリードしてきた社会学者による、決定的入門書。社会問題をきちんと考えたい人、批判的思考を身につけたい人、そして実践家にとって必読の書である。</p>	<p>税込¥1,980</p> 
<p>18 大石始</p> 	<p><b>盆踊りの戦後史：「ふるさと」の喪失と創造</b></p> <p>(筑摩選書) 大石始</p> <p>NDC:386.8</p> <p>2020/12 筑摩書房 256 p 46 19cm</p> <p>ISBN:9784480017192</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>盆踊りは、戦後大きく形を変えてきた。敗戦、高度経済成長、ニュータウンの造成、バブル、東日本大震災、地域の高齢化・過疎化、そしてコロナ禍…。人が集まり、音頭にあわせて踊ることは、楽しいだけでなく、人や地域にとって大切な役割を持っている。そして、その役割も時とともに変化してきた。盆踊りを通して、日本の地域コミュニティの変遷を見つめ、その未来を考える。</p>	<p>税込¥1,760</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>19</p> 	<p><b>ずばり東京 2020</b></p> <p>(筑摩選書) 武田徹 (ジャーナリスト)</p> <p>2020/12 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480017208</p> <p>NDC:302.136</p> <p>296 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>2020五輪・パラリンピックの準備に余念がなかった東京にCOVID-19のパンデミックが襲いかかる。1964五輪直前の東京を写した開高健『ずばり東京』にならい、首都高高架下の日本橋に始まり、飯田橋の「遺失物センター」、ハイテク納骨堂、六本木ヒルズ森タワーなどをジャーナリストの著者が二年にわたり取材。五輪開催前夜の狂騒から感染症不安への急転回を経て何が変わり、何が失われたのか。「論座」連載に書き下ろし八〇枚「東京コロナ禍日記」を加えたノンフィクション同時代史!</p>	<p>税込¥1,870</p> 
<p>20</p> 	<p><b>震災と死者：東日本大震災・関東大震災・濃尾地震</b></p> <p>(筑摩選書) 北原糸子</p> <p>2021/01 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480017215</p> <p>NDC:369.31</p> <p>311 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>東日本大震災から一〇年、死者がどう扱われてきたかはメディアも遺慮がちにしか報じていない。だが未来に向けて、死者をはじめ震災への対応を記録に残さねばならないだろう。本書は、現場で対応に当たった行政担当者や寺院への聞き取り、自治体が発行した記録誌などから東日本大震災の過程を跡づける。さらに関東大震災、濃尾地震に際し政府や社会が死者に対してどう対応してきたかを史料で検証。長年にわたり災害社会史研究に携わってきた歴史学者が、震災と死者の問題を問いあす。</p>	<p>税込¥1,870</p> 
<p>21</p> 	<p><b>ディズニーと動物：王国の魔法をとく</b></p> <p>(筑摩選書) 清水知子 (比較文学)</p> <p>2021/02 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480017222</p> <p>NDC:778.253</p> <p>336 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>ウォルト・ディズニーが創造したエンタテインメントは、米国大衆文化の代名詞であり、世界中を席卷している。姫と動物たちが織りなす夢と魔法の世界はいまなお拡大を続けるいっぽう、巨大資本を投入した反自然的な世界、徹底的に飼いならされた無菌化された世界でもある。ディズニーの物語は、現代の政治、社会、文化、自然に何をもたらしたか。その映像は私たちにどのような影響を及ぼしてきたか。その世界の舞台裏を探る。</p>	<p>税込¥1,870</p> 
<p>22</p> 	<p><b>教養としての写真全史</b></p> <p>(筑摩選書) 鳥原学</p> <p>2021/10 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480017246</p> <p>NDC:740.2</p> <p>398 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>21世紀に入って、写真のもつ意味と役割は劇的に変わった。スマートフォンが普及し、誰もが気軽に写真を撮ってSNSにUPするようになったからだ。だがこれまでも、機材やメディアの変化とともに写真の役割は常に変化してきた。単なる記録の手段として始まった写真が、次第に報道・広告・表現などへとその役割を広げていき、やがて芸術のジャンルとして確固たる地位を築くまでの道筋をたどる。歴史を知り、写真を読み解くリテラシーを身につけるための一冊。</p>	<p>税込¥2,090</p> 
<p>23</p> 	<p><b>「暮し」のファシズム：戦争は「新しい生活様式」の顔をしてやってきた</b></p> <p>(筑摩選書) 大塚英志</p> <p>2021/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480017253</p> <p>NDC:210.6</p> <p>352 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>一九四〇年、第二次世界大戦への参画を促す近衛文相政権は、国民を戦争に動員するための「新生活体制」の確立を唱えた。生活を一新し、国民を内面から作り変える。そのために用いられたのは、男性を戦場に駆り立てる勇ましい言葉ばかりではなかった。「ていねいな暮らし」「新捨離」「着こなし」「町内会」「二次創作」。これらは、元を正せば戦時下の文芸のプロパガンダがつくりだしたものである。現在私たちが享受する「当たり前」の起源を問い、政治の生活への介入があからさまになった「withコロナ」の暮らしを見つめ直</p>	<p>税込¥1,980</p> 
<p>24</p> 	<p><b>紅衛兵とモンゴル人大虐殺：草原の文化大革命</b></p> <p>(筑摩選書) 楊海英</p> <p>2021/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480017260</p> <p>NDC:222.6</p> <p>416 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>文化大革命で、中国政府は内モンゴルのモンゴル人三四万六〇〇〇人を逮捕し、二万七九〇〇人を殺害した。実際には三〇万人が犠牲になったとの調査もある。このモンゴル人大虐殺に、毛沢東の中国政府は、学生たちを中心とする紅衛兵を使った。彼らをジェノサイドに駆り立てたものは、いったいなんだったのか。ほとんど公開されていない『紅衛兵新聞』などの貴重な一次資料をもとに、内モンゴル出身の著者が大虐殺の真相を解明し、世界から無視されてきた文化大革命の負の側面に光を当てる。</p>	<p>税込¥2,090</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>25</p>  <p>乱歩とモダン東京</p> <p>藤井淑禎</p>	<p><b>乱歩とモダン東京：通俗長編の戦略と方法</b></p> <p>(筑摩選書)</p> <p>藤井淑禎</p> <p>2021/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480017277</p> <p>NDC:910.268</p> <p>240 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>江戸川乱歩の作品は、戦前の同時代においては「通俗長編」で圧倒的な人気を集めた。『蜘蛛男』に始まる『黒蜥蜴』『魔術師』『吸血鬼』『人間豹』『黄金仮面』のような怪人対名探偵明智小五郎の冒険活劇である。そこには乱歩の密かな戦略があった。大衆読者のあこがれをかきたてるような一九三〇年代のモダン東京の華やかな部分を活写し、見事に作品展開に生かしたのである。これまで研究されてこなかった通俗長編の中に、大衆の心をつかむ仕掛けとしての大東京の描写を読みといていく。</p>	<p>税込¥1,650</p> 
<p>26</p>  <p>ヨーロッパ思想史</p> <p>金子晴勇</p>	<p><b>ヨーロッパ思想史：理性と信仰のダイナミズム</b></p> <p>(筑摩選書)</p> <p>金子晴勇</p> <p>2021/04 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480017284</p> <p>NDC:130</p> <p>400 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>アウグスティヌスからトマス・アクィナスに至って完成した知の体系は、ドゥンス・スコトゥスとオッカムのウィリアムにより解体される。すると、エラスムスやルターが人文主義やプロテスタンティズムを興隆させる。ロックらが近代哲学の基礎を築き、カントとヘーゲルが思想体系を完成させるも、やがてマルクスの社会思想やフョイエルバッハの人間学などで解体される。このように理性と霊性の総合から解体への転換期に新思想が創造されるといふダイナミズムに注目し、ヨーロッパ思想史全体を描き出す野心的試み。</p>	<p>税込¥1,980</p> 
<p>27</p>  <p>日本回帰と文化人</p> <p>長山靖生</p>	<p><b>日本回帰と文化人：昭和戦前期の理想と悲劇</b></p> <p>(筑摩選書)</p> <p>長山靖生</p> <p>2021/04 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480017291</p> <p>NDC:910.26</p> <p>320 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>西洋文化を旺盛に摂取しつつ繁栄を遂げてきた近代日本は、昭和期に入ると急速に「日本回帰」へと旋回する。そのつねりのなかで文学者や思想家たちもまた、ときにそうした運動の主導者となっていった。和辻による日本古典美の称揚、保田らの「日本浪漫派」、北原白秋や斎藤茂吉の戦争詩歌、そして三木の東亜協同体論や京都学派の「世界史の哲学」。戦後タブー視されがちであったこれらの作品を、当時の時代状況や彼らの内的論理に注目しつつ読み解き、「日本的なもの」の核心に迫る意欲作。</p>	<p>税込¥1,870</p> 
<p>28</p>  <p>「ポスト・アメリカニズム」の世紀</p> <p>藤本龍児</p>	<p><b>「ポスト・アメリカニズム」の世紀：転換期のキリスト教文明</b></p> <p>(筑摩選書)</p> <p>藤本龍児</p> <p>2021/05 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480017307</p> <p>NDC:162.53</p> <p>395 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>二〇世紀をリードしたアメリカ文明も、近年、動揺を来すようになった。9・11同時多発テロ、ポピュリズムの台頭、COVID-19の世界的流行、そしてGAFJAに象徴されるテクノロジーの支配…。アメリカニズムは今、どこへ行こうとしているのか？そもそも、その根底には何があるのか？現代社会を突き動かす「総かり立て体制」、社会に底流し続け、時に政治をも動かす宗教。この二つの視軸から、転換期のキリスト教文明に光を当て、「ポスト・アメリカニズム」の世紀を展望する渾身作である。</p>	<p>税込¥1,980</p> 
<p>29</p>  <p>消費ミニマリズムの倫理と脱資本主義の精神</p> <p>橋本努</p>	<p><b>消費ミニマリズムの倫理と脱資本主義の精神</b></p> <p>(筑摩選書)</p> <p>橋本努</p> <p>2021/06 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480017314</p> <p>NDC:331.04</p> <p>368 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>いくらモノを買っても幸福度は訪れず、世界各地で経済格差が広がり、環境危機が深刻化する。資本主義社会が直面するこれらの問題を乗り越えるには何が必要か？身の回りのモノを捨て、最小限のモノで暮らすミニマリズムには、資本主義の支配力に抗して新たな文化を生み出す「脱資本主義の精神」に通じる回路があるという。今も圧倒的な支配力をもつ資本主義の「魔法」から抜け出すべく、「消費ミニマリズム」を多角的に検証し、その可能性を論じた画期的な思想書である。</p>	<p>税込¥1,980</p> 
<p>30</p>  <p>連帯論</p> <p>馬淵浩二</p>	<p><b>連帯論：分かち合いの論理と倫理</b></p> <p>(筑摩選書)</p> <p>馬淵浩二</p> <p>2021/07 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480017321</p> <p>NDC:361.1</p> <p>377 p 46 20cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>“連帯”という言葉はすでに有効性を失っているのだろうか。人間一人ひとりには欠如を抱えているが、複数人が結合すると一人では不可能な過剰が生まれる。この欠如と過剰を往還するなかでわれわれの日々の生は形づくられる。本書は、連帯の定義・分類・歴史から始まり、経済や宗教との関わり、そして連帯それ自体が持つ困難について包括的に考察した初の論考。人間の存在構造として連帯を捉え、その可能性をいま一度問いなおす。</p>	<p>税込¥2,090</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>31</p>  <p>石川 禎浩 中国共産党、その百年</p>	<p><b>中国共産党、その百年</b></p> <p>(筑摩選書)</p> <p>石川 禎浩</p> <p>2021/06 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480017338</p> <p>NDC:315.22</p> <p>376 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>二〇二一年で結党一〇〇年を迎える中国共産党。現在、約九二〇〇万の党員を擁する超巨大政権だ。結党から三〇年足らずで中華人民共和国を建国し、七〇年以上にわたってこの国を統治してきた。「党がすべてを決定」「絶対服従」「鉄の規律」といった組織原理はいかにして形成され、最高指導者・毛沢東は、この党にどのような影響を与えたのか。世界的な展開を視野に収めつつ、今日に至るまでの中国共産党の歩みを多角的に浮かび上がらせた最良の通史である。</p>	<p>税込¥1,980</p> 
<p>32</p>  <p>ぼくの昆虫学の先生たちへ 今福龍太</p>	<p><b>ぼくの昆虫学の先生たちへ</b></p> <p>(筑摩選書)</p> <p>今福龍太</p> <p>2021/07 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480017345</p> <p>NDC:486.04</p> <p>302 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「初夏の青空を背景にしたオオムラサキの荘厳な飛翔があれば、それだけで世界は完全だった。イチジクの木の葉にキボシカミキリの銀河のような黄色の斑点模様を発見すれば、もうその日の幸福は約束された」。昆虫を追い求める至福の時間。南米などで精力的に活動をつづける文化人類学者が書いた、自らの原体験ともいべき昆虫との出会いから、未知なる生命の世界へといざなってくれた14人の師への架空の手紙。</p>	<p>税込¥1,870</p> 
<p>33</p>  <p>暴走するポピュリズム 有馬晋作</p>	<p><b>暴走するポピュリズム：日本と世界の政治危機</b></p> <p>(筑摩選書)</p> <p>有馬晋作</p> <p>2021/08 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480017352</p> <p>NDC:311.7</p> <p>248 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>世界的に長い歴史と波を持つ運動であるポピュリズムは、いかにして日本に現れたのか。世界のポピュリズムの流れとの比較から、一九九〇年代の「改革派首長」（橋本大二郎、北川正恭、田中康夫ら）や小泉改革などに現代日本のポピュリズムの淵源を求め、「橋下劇場」「小池劇場」と呼ばれる「劇場型政治家」が地方政治に現れた政治力学を分析。今後日本でも国政レベルでポピュリズム政党が台頭する可能性があるのか、そうなった場合の危険性や対処法をリベラル・デモクラシー擁護の観点から幅広く論じる。</p>	<p>税込¥1,760</p> 
<p>34</p>  <p>PTA 堀内京子 モヤモヤの正体 保護者から見た 「親も知らない問題」まで</p>	<p><b>PTAモヤモヤの正体：役員決めから会費、「親も知らない問題」まで</b></p> <p>(筑摩選書)</p> <p>堀内京子</p> <p>2021/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480017369</p> <p>NDC:374.6</p> <p>240 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>子どものいる親の多くが経験するPTA。保護者間の交流などプラス面もある一方で、「？」なことも少なくない。「入退会は自由」が原則なのに、そうならないPTAが大半だ。個別の事情が考慮されないまま、「一人一役」などの仕組みで決められる係。そして上部団体へとその一部が「上納」されるPTA会費。各地のPTAやその上部団体で使途不明金が見つかったこともある。学校単位のPTAから、それらを束ねる「日P」まで、PTAの「モヤモヤ」に多角的に迫った渾身のドキュメント。すべての保護者、学校関係者、必読の書！</p>	<p>税込¥1,760</p> 
<p>35</p>  <p>世界文学の名作を 最短で読む 榎本伸明</p>	<p><b>世界文学の名作を「最短」で読む：日本語と英語で味わう50作</b></p> <p>(筑摩選書)</p> <p>榎本伸明</p> <p>2021/10 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480017376</p> <p>NDC:902</p> <p>254 p B6 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>ホメロス、古事記、シェイクスピア、カフカ、エミリー・ディキンソン、ヴァージニア・ウルフ、ウィリアム・カロール・ウィリアムズ...詩、小説、戯曲など古今東西の名作50作品の「おいしいところ」を日本語と英語で味わう画期的アンソロジー。世界文学の名作を気軽に読んで、さまざまな文体が奏でる音楽を堪能し、この世界の謎や作品に込められた誰かの思いの一端に触れてみよう。</p>	<p>税込¥1,870</p> 
<p>36</p>  <p>星新一の思想 浅羽通明</p>	<p><b>星新一の思想：予見・冷笑・賢慮のひと</b></p> <p>(筑摩選書)</p> <p>浅羽通明</p> <p>2021/10 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480017383</p> <p>NDC:910.268</p> <p>445 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>星新一とは何か。シニカルにきらめく千余のショートショート。高度に知的なエッセイの数々。戦後日本をばらか遠方から問い直し、近代の人間観を解体しつつSF小説群。圧倒的な知名度にもかかわらず、あんなものは小説ではないとされ、批評の対象とされてこなかった。日本最初のSF作家にして懐疑的思想者たる星新一の全仕事を読み抜き、ポストコロナを生きるための哲学を浮かび上がらせた、壮大なる企て。</p>	<p>税込¥2,200</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>37</p> 	<p><b>シェイクスピア全集 (全3巻セット)</b></p> <p>(ちくま文庫 シェイクスピア全集) ウィリアム・シェイクスピア：松岡和子</p> <p>2021/05 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480033000</p> <p>8784 B5ハ 19X24cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p>	<p>税込¥31,933</p> 
<p>38</p> 	<p>原題:ETHICS AND THE LIMITS OF PHILOSOPHY (Williams,Bernard)</p> <p><b>生き方について哲学は何が言えるか</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) バーナド・ウィリアムズ：森際康友</p> <p>2020/11 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480097910</p> <p>NDC:150.23</p> <p>478p B7コ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>生き方について哲学がどれほどの道しるべとなりうるかを考察した名著。近代の論証的合理性がわれわれの倫理的思考を擯んでいるという認識に立ち、道徳哲学の現状が議論される。「人はいかに生きるべきか」。ソクラテスのこの問いかけは、現代世界ではおおよそ共通の答をもたない。生き方についての確信は、知識による確実性や特定の信条への決断ではなく、「自信」の問題として捉えるべきだと著者は説く。古代ギリシャにおける哲学的思惟の豊かさを再発見し、純粋な理論と先入見に満ちた実践へと分裂した倫理に統合の展望を与える。</p>	<p>税込¥1,650</p> 
<p>39</p> 	<p><b>折口信夫伝：その思想と学問</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 岡野弘彦</p> <p>2020/02 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480099631</p> <p>NDC:910.268</p> <p>512p B7コ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>古代人との魂のひびきあいを生涯にわたり、悲劇的なまで求め続けた人・折口信夫。日本各地への旅のなかで発見された「まればと」、短歌創作を通じた教育、新しい国学の提唱、そして敗戦後の日本において育もうとした人類教的な神…。現実との葛藤を常に抱えながら展開された折口の学問とはいったい何であったのか。最後の弟子が足跡のひとつひとつを確かめながら、折口の内面の真実をつぶさに描き出す。師への追慕と鎮魂の念に溢れた傑作伝記。第14回和辻哲郎文化賞受賞。</p>	<p>税込¥1,760</p> 
<p>40</p> 	<p><b>中国禅宗史：「禅の語録」導読</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 小川隆</p> <p>2020/04 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480099648</p> <p>NDC:188.8</p> <p>400p B7コ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>伝灯、清規、問答、語録…「禅」は、こうして、「禅宗」となった！</p>	<p>税込¥1,430</p> 
<p>41</p> 	<p><b>大名庭園：江戸の饗宴</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 白幡洋三郎</p> <p>2020/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480099686</p> <p>NDC:629.21</p> <p>308p B7コ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>小石川後楽園、六義園、浜離宮等、大名家が誇った名園はどのように造られ、そこではどのような社交や饗宴が催されていたのだろうか。自然の地形や植生の利用、潮入りの池のような大泉、回遊様式など、日本庭園の魅力的な特徴を備えた大名庭園。そこを舞台に繰り広げられた茶事から趣向をこらした酒宴など多様な遊興と社交に、本書は注目する。大名庭園は京の公家文化と武家社会をつなぎ、当時の芸能、芸術全体を取り込んで成立したことが明らかになる。西洋の宮殿庭園とも機能を比較する他に類をみない文化史。</p>	<p>税込¥1,430</p> 
<p>42</p> 	<p><b>類似と思考 -- 改訂版</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 鈴木宏昭</p> <p>2020/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480099693</p> <p>NDC:141.5</p> <p>304p B7コ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>判断は類推に支えられる。心はどのようなメカニズムを持つのか。“われわれの認知活動を支えるのは、規則やルールではなく、類似を用いた思考＝類推である”。本書は、この一見常識に反する主張を展開したものだ。類推とは、既知の事柄を未知の事柄へ当てはめてみることで考えられている。だが、それだけでは実態に届かない。その二項を包摂するもうひとつの項との関係の中で動的に捉えなければならない。ここに、人間の心理現象に即した新しい理論が提唱される「準抽象化理論」。知識の獲得や発見、仮説の生成、物事の再吟味にも大きな力</p>	<p>税込¥1,320</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。



<p>43</p> 	<p><b>大元帥 昭和天皇</b></p> <p>(ちくま学芸文庫)</p> <p>山田朗</p> <p>2020/07 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480099716</p> <p>NDC:210.7</p> <p>450 p プラ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>大日本帝国において、天皇は軍事を統帥する大元帥であった。では、天皇は軍部からどのような情報を得て、それに対してどのような質問や意見を発していたのか。また、国策・戦略・作戦の決定に際して、どれほどの役割を果たしていたのか。史料から浮かび上がってくるのは、大元帥としての自覚と責任感を持ち、主体的に戦争指導を行っていた天皇の姿である。その軍事知識は豊富で、非凡な戦略眼によって統帥部の戦略・作戦の欠陥を鋭く指摘することもあった。昭和天皇の戦争指導の実像を描き、その戦争責任を検証する。</p>	<p>税込¥1,650</p> 
<p>44</p> 	<p><b>戦後日本漢字史</b></p> <p>(ちくま学芸文庫)</p> <p>阿辻哲次</p> <p>2020/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480099723</p> <p>NDC:811.27</p> <p>304 p プラ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>それはGHQと漢字廃止案から始まった。受難と模索の歴史。</p>	<p>税込¥1,320</p> 
<p>45</p> 	<p><b>米陸軍日本語学校</b></p> <p>(ちくま学芸文庫)</p> <p>ハーバート・バッシン：加瀬英明</p> <p>2020/04 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480099730</p> <p>NDC:810.7</p> <p>272 p プラ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p>	<p>税込¥1,210</p> 
<p>46</p> 	<p>原題:POLITICS,CULTURE,AND CLASS IN THE FRENCH REVOLUTION:Twentieth Anniversary Edition,With a New Preface (Hunt,Lynn)</p> <p><b>フランス革命の政治文化</b></p> <p>(ちくま学芸文庫)</p> <p>リン・ハント：松浦義弘</p> <p>2020/05 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480099747</p> <p>NDC:235.06</p> <p>512 p プラ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>フランス革命固有の成果は、まずは政治的なものであり、レトリックやシンボル、儀式の実践によって構成される新しい「政治文化」の創造であった。イデオロギー、国民の再生に関する言語、平等と友愛のジェスチャー、「透明」で「普遍的」なものを指向する政治言語と文化は、まさにこの革命のプロセスで創造され、革命の展開を左右することとなった。また、この政治文化は、それを生み出した人々の社会的区分や経済的变化と「メビウスの帯」のように関係していた。文庫収録にあたって、著者による新たな「まえがき」を付す。</p>	<p>税込¥1,760</p> 
<p>47</p> 	<p><b>はじめてのオペレーションズ・リサーチ</b></p> <p>(ちくま学芸文庫)</p> <p>齊藤芳正</p> <p>2020/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480099754</p> <p>NDC:417</p> <p>204 p プラ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>オペレーションズ・リサーチ(OR)は、第二次世界大戦中、イギリスで軍事作戦研究の技法として創案された。その後、軍事に限らず企業経営や公共政策などさまざまな分野・組織において、意思決定の数学的・科学的アプローチとして発展を遂げた。問題の解決、改善のための最も効率的で最も適切な方法は何か。</p>	<p>税込¥1,210</p> 
<p>48</p> 	<p><b>民間信仰</b></p> <p>(ちくま学芸文庫)</p> <p>桜井徳太郎</p> <p>2020/05 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480099761</p> <p>NDC:387</p> <p>400 p プラ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>河童・濡れ女子のごとき魔物、疫病をつかさどるハヤリ神、人に憑く姿の見えない妖怪ノソコ、門松・松飾りを焼く正月行事や初田植・穂掛け祝いのような農耕年中行事など、日本の民衆生活に沈殿している信仰の数々。その正体は何なのか、どのような構造で意識の底に堆積しているのか。本書は、柳田國男門下の宗教民俗学者が、日本人の宗教生活に分け入った明快な書である。高度成長期以前の暮らしのなかに多様な怪異と信仰が蠢いている姿を活写し、日本人の精神的伝統へと踏み込んで、長く読み継がれてきた一冊。</p>	<p>税込¥1,540</p> 



筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>49</p> 	<p>原題:THE ART OF THOUGHT (Wallas,Graham)  <b>思考の技法</b>                  (ちくま学芸文庫)                  グレーム・ウォーラス：松本剛史                  2020/05 筑摩書房                  ISBN:9784480099778                  NDC:141.5                  352p プラ 15cm  <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>あらゆる知的創造は、“準備”“培養”“発現”“検証”という四つのプロセスを踏むことで生み出される。では、人間がもつ思考の可能性を最大限活用し、「ひらめき」を意識的に生み出すような方法とはどのようなものか。パーナード・ショーらとともにフェビアン協会の中心人物であったイギリスの政治学者・社会学者グレーム・ウォーラス(1858-1932)。彼は、混迷を深める危機の時代において「思考」がなによりも重視されるべきと考え、そのメカニズムを原理的に究明しようとした。ジェームス・ヤング『アイデアのつくり方』の</p>	<p>税込¥1,320</p> 
<p>50</p> 	<p><b>複雑系経済学入門 -- 増補</b>                  (ちくま学芸文庫)                  塩沢由典                  2020/05 筑摩書房                  ISBN:9784480099785                  NDC:331                  544p プラ 15cm  <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>従来の経済学には二つの重大な欠陥がある。一つは消費者も生産者も神のごとく世の中のすべてを把握し、最も有利な選択をするという仮定。二つ目は生産規模を大きくすればするほど生産効率が下がるという原価計算上ありえない仮定。この欠陥は以前から指摘されてきたが、経済学の中核をなす需給均衡理論の成立に不可欠として、不問に付されてきた。しかしこれでは社会を正確に把握できず、有効な経済政策を立てることもできない。本書が説く複雑系経済学はこの誤った前提を見直し、複雑な経済現象を抽象化せずに理解しようとする最先端の試</p>	<p>税込¥1,760</p> 
<p>51</p> 	<p><b>古代日本語文法</b>                  (ちくま学芸文庫)                  小田勝                  2020/05 筑摩書房                  ISBN:9784480099792                  NDC:815                  416p プラ 15cm  <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>従来の品詞別、助動詞・助詞別の記述によらず、現代語文法の枠組みで古代日本語文法(古典文法)を解説した画期的な文法書。五十音図をはじめとする基礎から、動詞、形容詞、述語の構造、時間表現、そして敬語まで、本書には、平安期を主とする古典文を読み解くための知識が網羅されている。また、文章読解にあたっては、文中における語の配列規則などを扱う構文論と、語形変化や語の構成を考察する形態論、この二つの視点を持つことが重要だと説く。広く日本語文法や日本古典文学に関心を寄せる人々に推奨したい一冊。</p>	<p>税込¥1,540</p> 
<p>52</p> 	<p><b>西田幾多郎：近代日本思想選</b>                  (ちくま学芸文庫)                  西田幾多郎：小林敏明                  2020/04 筑摩書房                  ISBN:9784480099815                  NDC:121.6                  592p プラ 15cm  <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p>	<p>税込¥1,760</p> 
<p>53</p> 	<p><b>九鬼周造：近代日本思想選</b>                  (ちくま学芸文庫)                  九鬼周造：田中久文                  2020/08 筑摩書房                  ISBN:9784480099822                  NDC:121.6                  649p プラ 15cm  <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>“媚態”“意気地”“諦め”という三つの契機から、日本の美意識「いき」の構造を解明した九鬼周造。ハイデッガーやベルクソンらに師事し、豊かな方法的視座を身につけたこの哲学者にとって、人と人とのめぐり逢いの謎は、自身の実存ともあいまって生涯を覆うものであった。「偶然性」の哲学の誕生だ。のちにそれは、日本文化論における「自然」の思想においてひとつの帰結をみる。没後、時代ごとに異なる光が当てられてきた九鬼の哲学。本書は、自伝のエッセイからヨーロッパでの講演、人生観、晩年の詩論まで、その全体像と独創性を一冊</p>	<p>税込¥1,870</p> 
<p>54</p> 	<p><b>オリンピア：遺跡・祭典・競技</b>                  (ちくま学芸文庫)                  村川堅太郎                  2020/06 筑摩書房                  ISBN:9784480099884                  NDC:780.69                  247p プラ 16cm  <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>オリンピック発祥の地・オリンピア。そこは、古代ギリシアを代表する体育競技の場であっただけでなく、広く古典古代史の結節点でもあった。ゼウス神へ献ずる宗教儀礼＝オリンピア祭はいかにして始まり、ここでの競技とはどのようなものであったのか。本書は、オリンピアの発掘史と遺跡の概要を述べた後、興味深い逸話を交えつつ競技祭典の実像に迫る。碩学が明快な筆致で描いた古代ギリシア史の名著。</p>	<p>税込¥1,100</p> 


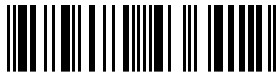



筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>55</p> 	<p><b>記号論講義：日常生活批判のためのレッスン</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 石田英敬</p> <p>2020/07 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480099891</p> <p>NDC:801</p> <p>630p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>社会やモノやメディアが現代人に発信してくる記号の嵐。それに飲み込まれず日常を生き抜くためには、どのような力が必要なのか。本書は、現代思想の基礎となるソシュールやバースの記号論から始まり、テレビCMや雑誌広告・アートと建築・身体と権力・ニュース報道・スポーツイベント・サイバースペースにおけるコミュニケーションの各論へと、11のレッスン形式で構成される。それらを通して、読者はセミオ・リテラシー、つまり「意味批判力」を獲得することができるはずだ。東京大学での講義をもとに書かれた、新しい記号論の教科書</p>	<p>税込¥1,870</p> 
<p>56</p> 	<p>原題:Breve Ma Veridica Storia della pittura Italiana (Longhi,Roberto)</p> <p><b>イタリア絵画史</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) ロベルト・ロンギ：和田忠彦</p> <p>2020/06 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480099907</p> <p>NDC:723.37</p> <p>378p ぶん 16cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>美術において重要なのは主題ではない、線・形・色がすべてだ。本書は、イタリアを代表する美術史家ロンギの伝説的講義録である。第1部「イデー」では、事物の躍動を捉えつつ展開していく線、光による造形性、色彩表現とその総合様式など、美的判断の基準を提出。続く第2部「歴史」では、古代ローマから「イタリア絵画の終焉」までをイデーに基づいて論じる。絵画が心理的歴史のな説明図に墮することなく、純粋に視覚的に批評されるべしという透徹した主張は、パソリーニやモランディらに絶大な影響を与えた。収録図版多数。</p>	<p>税込¥1,650</p> 
<p>57</p> 	<p>原題:Capitalism and Slavery (Williams,Eric)</p> <p><b>資本主義と奴隷制</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) エリック・ウィリアムズ：中山毅</p> <p>2020/07 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480099921</p> <p>NDC:233.06</p> <p>463p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>なぜイギリスは世界ではじめての工業化を成し遂げ、ヴィクトリア時代の繁栄を謳歌しえたのか。この歴史学の大問題について、20世紀半ばまでは、イギリス人、特にピューリタンの勤働と禁欲と合理主義の精神がそれを可能にしたのだとする見方が支配的だった。これに敢然と異を唱えたのが、本書『資本主義と奴隷制』である。今まで誰も注目しなかったカリブ海域史研究に取り組んだウィリアムズは、奴隷貿易と奴隷制プランテーションによって蓄積された資本こそが、産業革命をもたらしたことを突き止める。歴史学の常識をくつがえした金字塔</p>	<p>税込¥1,870</p> 
<p>58</p> 	<p><b>古伊万里図鑑</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 秦秀雄</p> <p>2020/06 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480099945</p> <p>NDC:751.1</p> <p>304p ぶん 16cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>青山二郎と親交を結び、北大路魯山人に星岡茶寮を任せ、柳宗悦の蒐集に協力した稀代の目利き、秦秀雄。すべての古美術に精通したが、伊万里を鑑賞の世界に引き上げた牽引役としてつとに名が高い。本書は、その秦が滴を持って刊行した、究極の古伊万里鑑賞案内だ。掲載されている品々は、今も愛好家垂涎の的となっており、蒐集のスタンダードになっている。収められているのは、代表的な染付や白磁から、希少な赤絵、鉄絵、辰砂、辰砂、瑠璃釉まで、約340点。秦秀雄の眼が射抜いた見どころを、ぜひ味わっていただきたい。幻の名著、遂</p>	<p>税込¥1,540</p> 
<p>59</p> 	<p><b>数理のめがね</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 坪井忠二</p> <p>2020/07 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480099952</p> <p>NDC:410.4</p> <p>311p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「物のかぞえかた」「勝負の確率」「幾何学の道具」「振り子十話」など、身近なことから現象の本質を考察した知的好奇心を刺激する数理エッセイ。著者は地球物理学(地震学)の泰斗で、寺田寅彦門下のひとりとして、師の精神を引き継ぎ「難しい問題を易しく解説」する。その軽妙で数学的センスに溢れた語り口には定評があった。前半部の数理読み物に続き、後半部では理工系学生向けの少々ひねりを利かせた「微分方程式雑記帳」を収録する。</p>	<p>税込¥1,320</p> 
<p>60</p> 	<p><b>アレクサンドロス大王物語</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) カリステネス：橋本隆夫</p> <p>2020/08 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480099969</p> <p>NDC:289.3</p> <p>503p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>アレクサンドロス大王の事績は史実としてだけでなく、物語としても後世に大きな影響を与えた。中でも、「アレクサンドロス・ロマンス」と称された本書は、聖書について読まれた本とされる。基本的な史実を踏襲しつつ、鮮やかな戦闘場面、ペルシア王やインド王との書簡のやりとり、エジプトに由来する血統、裸形の哲学者との対話、アマゾネスや怪物との邂逅などを織り交ぜて、多くの一般大衆を長きにわたり魅了した。「物語」本篇に加えて、ラテン語で書かれた「アレクサンドロスからアリストテレス宛ての手紙」も収録。</p>	<p>税込¥1,650</p> 





筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>61</p> 	<p><b>数学プレイ・マップ -- 新版</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 森毅</p> <p>2020/08 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480099983</p> <p>NDC:410.4</p> <p>336p B7判 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「マップとは言っても、国土地理院のような権威はない。ところどころの案内、それも案内人の勝手に連れて行かれる程度の、気ままな地図だ。そこで勝手に遊んで、そして自分の地図を、これまた勝手に作る、それでよいと思う。」(「あとがき」より)。3次曲線、群論、関数、位相解析、集合等を難易もさまざま、趣向もさまざままで遊び尽くす一刀斎流数学ワールド。30歳で執筆した幻の論考「微積分の七不思議」や壮大な数学の歴史をすっきり簡潔に素描した「数学の大いなる流れ」他全5編を増補した新版。</p>	<p>税込¥1,320</p> 
<p>62</p> 	<p>原題:POUR UN CATASTROPHISME 'ECLAIR'E:Quand l'impossible est certain (Dupuy,Jean-Pierre)</p> <p><b>ありえないことが現実になるとき : 賢明な破局論にむけて</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) ジャン・ピエール・デュビュイ : 桑田光平</p> <p>2020/08 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480099990</p> <p>NDC:369.3</p> <p>320p B7判 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>なぜ私たちは最悪の事態に備えることができず、大惨事が繰り返されてしまうのか。あるいは、たとえば「経済が予防か」といった不毛な対立をしりぞけることはいかにして可能なか。現代世界において破局的な出来事は、「想定外」のものとして思考の域外に置かれるか。計量可能な「リスク」の問題へと矮小化されてきた。だが、そうした事態に繰り返し直面する今日にあって、私たちは破局を直視し、それを思考するすべを手に入れなければならない。「賢明な破局論」を手掛かりに、私たちの認識のありようを鋭く問い、その根源的な転換を迫</p>	<p>税込¥1,320</p> 
<p>63</p> 	<p><b>植物たちのフシギすぎる進化 : 木が草になったって本当?</b></p> <p>(ちくまQブックス) 稲垣栄洋</p> <p>2021/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480251114</p> <p>NDC:471</p> <p>93p B6 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>サッカーの攻撃の戦術や、回転寿司屋さんが考えた効率化、同じようなことを、すでに植物たちがやっていた?植物たちが生き残りをかけて進化してきた過程を追いかけると、「強さ」の基準や勝負の方法は無限にあることが見えてくる。勇気づけられる、植物たちの話。</p>	<p>税込¥1,210</p> 
<p>64</p> 	<p><b>未来のきみを変える読書術 : なぜ本を読むのか?</b></p> <p>(ちくまQブックス) 菅野一徳</p> <p>2021/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480251121</p> <p>NDC:019</p> <p>123p B6 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>本を読むと、頭の中に知識のネットワークができるし、広い視野で世界を見る目ももてるようになる。解決したい問題やもつと理解を深めたい物事に会ったとき、その頭や目が威力を発揮する。進みたい道へ自由に歩き出せるようになる。そのための本の読み方を全力紹介。</p>	<p>税込¥1,210</p> 
<p>65</p> 	<p><b>100年無敵の勉強法 : 何のために学ぶのか?</b></p> <p>(ちくまQブックス) 鎌田浩毅</p> <p>2021/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480251138</p> <p>NDC:002.7</p> <p>128p B6 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>勉強の本当の目的は「誰にもじゃまされない人生」を自分の中に作り出すこと。「死んだ勉強」を「活きた勉強」に変えて、ステキな自分をプロデュースしよう。勉強はいつ始めても遅すぎることはない。京大人気ナンバーワン教授が、ワクワクする勉強の秘伝を大公開!</p>	<p>税込¥1,210</p> 
<p>66</p> 	<p><b>きみの体は何者か : なぜ思い通りにならないのか?</b></p> <p>(ちくまQブックス) 伊藤亜紗</p> <p>2021/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480251145</p> <p>NDC:496.9</p> <p>96p B6 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>緊張で体が固まったり言葉が出なかったり。そう、体は思い通りにならない。でも体にだって言い分はある。しゃべること歩くことがどんなに大変か私たちは知らない。さあ体の声に耳をすまそう。思いがけない発見が待っている。きっと体が好きになる14歳からの身体論。</p>	<p>税込¥1,210</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>67</p> 	<p><b>太陽にほえろ! 伝説</b></p> <p>(ちくま文庫) 岡田晋吉</p> <p>2020/02 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436337</p> <p>NDC:778.8</p> <p>278 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>'72年から'86年まで放映された、『太陽にほえろ!』。従来の刑事ドラマの型を破り、銀幕の大スター石原裕次郎やGSのアイドル萩原健一を得て、刑事に焦点を当てた「青春アクションドラマ」としてスタート。主人公の萩原が降板を申し出たことが殉職劇を生み、続く松田優作など無名の新人が次々とスターへ。テレビも青春期、キャスト・スタッフが若い感性で開拓し続けた15年。豊富な写真と共に詳述する永久保存版!</p>	<p>税込¥990</p> 
<p>68</p> 	<p><b>鴻上尚史のごあいさつ1981-2019</b></p> <p>(ちくま文庫) 鴻上尚史</p> <p>2020/02 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436368</p> <p>NDC:914.6</p> <p>512 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>劇団「第三舞台」旗揚げ時から現在に至るまで、新作公演の度に観客席へ配られる鴻上尚史の手書き文章「ごあいさつ」。幕が開く直前の想いを込めた珠玉のメッセージを全公演分収録するだけでなく、上演当時を振り返る「解説」パートを作品ごとに大胆に加筆した。ファンはもちろん「はじめまして」の方も必見! 38年間にわたる圧倒的創作活動の軌跡を前に、胸の奥から熱くなるっておきのエッセイ集。</p>	<p>税込¥1,320</p> 
<p>69</p> 	<p><b>小川洋子と読む内田百二アンソロジー</b></p> <p>(ちくま文庫) 内田百二：小川洋子(小説家)</p> <p>2020/02 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436412</p> <p>NDC:913.6</p> <p>288 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>現実と幻、笑いと恐怖、彼岸と此岸、あらゆる境界をすりりと越えて、不思議な光を放つその作品を、百二をこよなく愛する作家・小川洋子と一緒に楽しもう。「冥途」「梅雨韻」「旅順入城式」「サラサーテの盤」...珠玉の24篇を集めて贈る、新しい内田百二の世界。</p>	<p>税込¥968</p> 
<p>70</p> 	<p><b>喫茶店の時代：あのときこんな店があった</b></p> <p>(ちくま文庫) 林哲夫</p> <p>2020/04 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436450</p> <p>NDC:673.9</p> <p>400 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p>	<p>税込¥1,100</p> 
<p>71</p> 	<p><b>土曜日は灰色の馬</b></p> <p>(ちくま文庫) 恩田陸</p> <p>2020/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436474</p> <p>NDC:914.6</p> <p>289 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>恩田陸が眺める世界。小説、漫画、映画に音楽、舞台まで...少女時代からありとあらゆるエンターテインメントを堪能し、物語を愛し続ける作家の眼にはどんな世界が映っているのか? その耳では、どんな響きを感じているのか? どんな言葉で語るのか? 軽やかな筆致で想像力の海原を縦横無尽に楽しみ尽くす、とびきり贅沢なエッセイ集。</p>	<p>税込¥792</p> 
<p>72</p> 	<p><b>トキワ荘の時代</b></p> <p>(ちくま文庫) 梶井純</p> <p>2020/02 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436498</p> <p>NDC:726.1</p> <p>272 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>手塚治虫、石ノ森章太郎、赤塚不二夫、藤子・F・不二雄、藤子不二雄A、水野英子ら戦後マンガの巨人たちが、青春時代を過ごしたトキワ荘アパート。そこにはいつもモテラさんがいた。「スポーツマン金太郎」「背番号0」などの名作を残したテラさんこと、寺田ヒロオが戦後マンガ界に残した足跡をたどりながら、マンガが青春だった頃の姿を描いた傑作ノンフィクション。</p>	<p>税込¥968</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>73</p> 	<p><b>落語家のもの覚え</b></p> <p>(ちくま文庫) 立川談四樓</p> <p>2020/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436511</p> <p>NDC:779.13</p> <p>224 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「覚え上手」は案外大成しない。爆笑修業話から、高齢弟子の奮闘記まで。意外な視点から実生活に役立つヒントが満載。</p>	<p>税込¥924</p> 
<p>74</p> 	<p><b>もうひとつの天皇家 伏見宮</b></p> <p>(ちくま文庫) 浅見雅男</p> <p>2020/04 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436528</p> <p>NDC:288.44</p> <p>406 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p>	<p>税込¥1,320</p> 
<p>75</p> 	<p><b>次の時代を先に生きる：ローカル、半農、ナリワイへ</b></p> <p>(ちくま文庫) 二坂勝</p> <p>2020/02 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436535</p> <p>NDC:159</p> <p>352 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>この本を読んで「会社をやめた」「地方に移住する」「小さな起業をする」「食べ物を育ててみる」「思い切って踏み出せた」という人が続出。地域でナリワイを興して生きるための、体験と実践と理論に満ちた本。嫌な仕事で経済的豊かさを追うのではなく、競争を降り、地域に分散し、「できる」ことを増やし、自由と幸福へ。</p>	<p>税込¥968</p> 
<p>76</p> 	<p><b>大好きな野菜大好きな料理</b></p> <p>(ちくま文庫) 有元葉子</p> <p>2020/05 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436542</p> <p>NDC:596.3</p> <p>288 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>手に入りやすい29の野菜それぞれに、使い方や味の方向、調理法などを変えたベストな料理を3つずつご紹介。この野菜ならこれがおいしい、おすすめ料理107種類！あなたの野菜生活が豊かになります。</p>	<p>税込¥924</p> 
<p>77</p> 	<p><b>増補みんなの家。：建築家一年生の初仕事と今になって思うこと</b></p> <p>(ちくま文庫) 光嶋裕介</p> <p>2020/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436559</p> <p>NDC:527</p> <p>340 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>対話する建築家の処女作。内田樹邸「凱風館」ができるまで。</p>	<p>税込¥1,056</p> 
<p>78</p> 	<p><b>「居場所」のない男、「時間」がない女</b></p> <p>(ちくま文庫) 水無田気流</p> <p>2020/05 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436566</p> <p>NDC:367.3</p> <p>304 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>現代日本に暮らす人々はある種の貧困に陥りやすい。仕事一本で家庭や地域に居場所を失う「関係貧困」の男性たち。生まれた時から進学、就職、結婚、育児、介護と期限に追われる「時間貧困」の女性たち。世界が平等を謳えども、いまだ両者の間には深い分断が存在する。「普通」の幸せは本当に在るのか？凝り固まった構造の歪みを今こそ丁寧に解きほぐす。</p>	<p>税込¥968</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>79</p> 	<p><b>花と昆虫、不思議なだましあい発見記</b></p> <p>(ちくま文庫) 田中肇：正者章子</p> <p>2020/04 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436573</p> <p>NDC:471.3</p> <p>336 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p>	<p>税込¥880</p> 
<p>80</p> 	<p><b>住み開き：もう一つのコミュニティづくり -- 増補版</b></p> <p>(ちくま文庫) アサダワタル</p> <p>2020/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436580</p> <p>NDC:361.6</p> <p>304 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>つながるためのヒント満載。自宅の一部を開いて、博物館や劇場、ギャラリーにしたり、子育て世代やシニアの交流の場に。</p>	<p>税込¥902</p> 
<p>81</p> 	<p><b>悪意銀行</b></p> <p>(ちくま文庫) 都筑道夫：日下三蔵</p> <p>2020/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436603</p> <p>NDC:913.6</p> <p>391 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>近藤・土方シリーズ第二弾が復活。非常識アクション小説。</p>	<p>税込¥880</p> 
<p>82</p> 	<p><b>秘本大岡政談：井上ひさし傑作時代短篇コレクション</b></p> <p>(ちくま文庫) 井上ひさし</p> <p>2020/04 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436610</p> <p>NDC:913.6</p> <p>352 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p>	<p>税込¥990</p> 
<p>83</p> 	<p><b>奴隷のしつけ方</b></p> <p>(ちくま文庫) マルクス・シドニウス・ファルクス：ジェリー・トナー</p> <p>2020/04 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436627</p> <p>NDC:232</p> <p>288 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p>	<p>税込¥880</p> 
<p>84</p> 	<p><b>ひとの居場所をつくる：ランドスケープ・デザイナー田瀬理夫さんの話をつうじ</b></p> <p>(ちくま文庫) 西村佳哲</p> <p>2020/05 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436634</p> <p>NDC:518.8</p> <p>288 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>この世界は一人ひとりの仕事の累積で、仕事の質は個々の“働き方”によるところが大きい。その視点で書かれた『自分の仕事をつくる』の10年後、著者はこの本を書くことになる。土地も家族も生活空間も、メディアにおいても社会空間の個人化が進み、次第に分断されてゆく私たちの“生”を、その境界線を越えてつなぎ直してゆく、連続的なデザインとは？</p>	<p>税込¥946</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>85</p> 	<p><b>思索紀行：ぼくはこんな旅をしてきた．上</b></p> <p>(ちくま文庫) 立花隆</p> <p>2020/06 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436658</p> <p>NDC:290.9</p> <p>412p プンコ 16cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>古代遺跡を探訪して歴史の深層にせまり(序論)、無人島でサバイバル生活に翻弄され(第1章)、ブルゴニユでヴィンテージワインに酔い(第3章)、ギリシャ正教の聖地アトスで賛美歌がかなでる神への祈りに心をふるわせ(第6章)、1960年代に反戦映画をかつてヨーロッパを放浪(第8章)。ジャーナリストならではの鋭敏な感覚で、世界の姿を読者にはっきりとさしだした思想旅行記の名著。</p>	<p>税込¥990</p> 
<p>86</p> 	<p><b>思索紀行：ぼくはこんな旅をしてきた．下</b></p> <p>(ちくま文庫) 立花隆</p> <p>2020/06 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436665</p> <p>NDC:290.9</p> <p>384p プンコ 16cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>日本赤軍の岡本公三に中東で獄中インタビューを敢行してテロリストの論理と美学に肉薄し(第1章)、マンハッタンをくまなく歩いて人間の欲望の到達点を予見し、エイズ禍のニューヨークで疫病と人類の関係を歴史的視座から考察する(第4章)。自分の足で当事者にせまり、すさまじい好奇心で対象に接近する見聞録にして、すぐれた文明論。ジャーナリスト立花隆の傑作紀行!</p>	<p>税込¥990</p> 
<p>87</p> 	<p><b>ごはん通</b></p> <p>(ちくま文庫) 嵐山光三郎</p> <p>2020/05 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436689</p> <p>NDC:914.6</p> <p>256p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>粥と雑炊、おにぎりとおむすび、すし、どんぶり(日本七大丼)、炊き込みごはん...日本人は米の微妙な味わいがわかり、世界一うまい米を生産する。どういう米で、どう炊き方がうまいかを美食に基づき読者、日本人と米のかかわり、米をつかった食品のうまさ味わい方を、文学者のエピソードや古今の蘆薈話と共にわかりやすく面白く語った徹底的こめエッセイ。</p>	<p>税込¥880</p> 
<p>88</p> 	<p><b>家が呼ぶ：物件ホラー傑作選</b></p> <p>(ちくま文庫) 朝宮運河</p> <p>2020/06 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436696</p> <p>NDC:913.68</p> <p>314p プンコ 16cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>おそろしい家、奇妙な家、住みたくない家、不思議と惹かれてしまう家。「家」にまつわるホラー作品は古今東西人々の心を掴んで離さない。王道の屋敷、マンションにシェアハウス、様々なタイプの「物件」をモチーフ＆舞台に据えた「逃亡不可能」な短編を一堂に集結! 怪奇好きからピギナーまで病みつき必至の贅沢な特選アンソロジー。</p>	<p>税込¥990</p> 
<p>89</p> 	<p><b>詩歌の待ち伏せ</b></p> <p>(ちくま文庫) 北村薫</p> <p>2020/07 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436801</p> <p>NDC:911.04</p> <p>577p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>本の達人・北村薫が古今東西、有名無名を問わず、日々の生活の中で出会った詩歌について語るエッセイ集。作品、作家への愛着や思いがけない出会いが、鋭敏な感性や深い想像力とともに丁寧に穏やかに語られるとき「詩歌」の世界の奥深さと溢れる愛情を感じずにはいられない。これまで分冊で刊行されてきたものを1冊に合本し、「決定版」としてよみがえる。</p>	<p>税込¥1,320</p> 
<p>90</p> 	<p>原題:La quarantaine (Le Cl'ezio, Jean-Marie Gustave)</p> <p><b>隔離の島</b></p> <p>(ちくま文庫) ジャン＝マリ・ギュスターヴ・ル・クレジオ</p> <p>2020/06 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436818</p> <p>NDC:953</p> <p>640p プンコ 16cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>フランスからモーリシャスへ向かう船内で天然痘が発生し、一行は目的地近くの島で40日間隔離されることに。医薬品や食品も不足するなか新たな発症者が出て、乗客たちは死と隣り合わせの極限状態を生きる。島の自然、宗主国と植民地、被差別民、疫病、そして若者たちの恋が織りなす豊かで複雑なタピスリーのような人間ドラマ。ノーベル賞作家自身の祖先の歴史に素材を汲み描いた代表的三部作の一作。</p>	<p>税込¥1,650</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>91</p> 	<p><b>必ず食える1%の人になる方法</b></p> <p>(ちくま文庫) 藤原和博 (著述家)</p> <p>2020/06 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436825</p> <p>NDC:159</p> <p>256 p プラ 16cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>リクルートの営業、そして中学校・高校の校長として、30年間人間を見てきた結論「100人に1人」なら、誰でもなれるし、食べていける!この本で紹介するたった7つの条件さえクリアできれば、特別な才能は必要ないのです。究極のサバイバル戦略として話題の本を、ついに文庫化。文庫版だけの特典として、キングコングの西野亮廣氏との対談を附す。「人生の教科書」コレクション第2弾!</p>	<p>税込¥792</p> 
<p>92</p> 	<p><b>俳優と戦争と活字と</b></p> <p>(ちくま文庫) ニ田研吾</p> <p>2020/07 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436832</p> <p>NDC:772.1</p> <p>480 p プラ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>あの俳優たちの戦争とは?鶴田浩二、伊藤雄之助、加東大介、佐野周二、片岡千恵蔵、芦田伸介、西村晃、山田五十鈴...昭和の映画・舞台・テレビで活躍したスター、名優たち。その華やかな姿の裏に隠された戦争体験とは?中国大陸での戦闘、特攻隊、慰問団、疎開、引揚げ、シベリア抑留などを、書籍や雑誌インタビュー記事など活字で残された資料をもとに描きだす。</p>	<p>税込¥1,210</p> 
<p>93</p> 	<p><b>思い立ったら隠居：週休5日の快適生活</b></p> <p>(ちくま文庫) 大原扁理</p> <p>2020/08 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436839</p> <p>NDC:916</p> <p>263 p プラ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>好きな時に起きて遊んで、食べて寝る、憧れの「隠居」生活。「せちがらい世の中でいかに隠居という生活スタイルにたどり着き、楽しく毎日を生き延びる方法を見つけてきたが、自らの体験をもとにお話していきたいと思います。」「隠居食」から人生哲学まで。キラキラ自己啓発本とは対極の、しわしわ自己完結本。文庫化にあたり、エッセイ、レシピ、イラストを増補。</p>	<p>税込¥814</p> 
<p>94</p> 	<p><b>森の文学館：緑の記憶の物語</b></p> <p>(ちくま文庫) 和田博文</p> <p>2020/07 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436856</p> <p>NDC:918.6</p> <p>380 p プラ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>湿り気と静寂と豊かな恵みが満ちる森は、日常を超える別世界への通路だ。人の心の奥にある根源的な存在としての森を語る宮崎駿、森に住む不思議な存在の物語を紡ぐ佐藤さとるや倉本聰、都会の中に森を幻視する稲葉真弓、森林の果てに赤岳の絶壁を見出した亀井勝一郎など、森という魅惑のトポスで生まれた珠玉の37篇がこの1冊に。文学の森を巡って、あなたの物語を探してみませんか。</p>	<p>税込¥924</p> 
<p>95</p> 	<p><b>私の箱子</b></p> <p>(ちくま文庫) 一青妙</p> <p>2020/08 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436863</p> <p>NDC:778.21</p> <p>311 p プラ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>台湾の名家を背負った父と、国際結婚に踏み切った母。そこに生まれた筆者と仲良しの妹。四人で暮らした思い出の美家を取り壊す時、沢山の記憶が詰まった箱子「中国語で「箱」が見つかった。早くに身を去った両親は、あの時何を考えていたのか?日記や手紙を読むことで二つの故郷が繋がっていく。悲劇の中でも消えなかった家族の愛を伝える珠玉のエッセイ。</p>	<p>税込¥880</p> 
<p>96</p> 	<p><b>飛田残月</b></p> <p>(ちくま文庫) 黒岩重吾</p> <p>2020/08 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436870</p> <p>NDC:913.6</p> <p>272 p プラ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>飛田の旅館に出入りする私は、かつて亭主といきさつがあった娼婦・芳子と一晚をともにするが、そこで泥沼から這い上がるとうる女の狂おしくも悲しい復讐心につれ、「飛田残月」。過去を秘めながら雑草のように身を寄せ合い生きる娼館の女たち。水面下で互いを守るうとする静かな想いの正体は... («雑草の宿»)。酷薄さとやさしさの溶けあう筆致で淪落の者たちへの愛を描き切った、直木賞作家による傑作八篇。</p>	<p>税込¥858</p> 



筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>97</p> 	<p><b>落語を聴いてみたけど面白くなかった人へ</b></p> <p>(ちくま文庫) 頭木弘樹</p> <p>2020/08 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436887</p> <p>NDC:779.13</p> <p>322p B判 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>ちゃんと聴いたことがあるのに、そのうえで興味が持てない。落語は落ちが命、と言われるのに、落ちの何が面白いのかさっぱりわからなかった…。そんな人は案外多い。「落語は面白くないのがあたりまえ」から始まる落語案内。桂米朝、古今亭志ん生ら断家はもちろん、カブカやディケンズ、漱石まで登場し、耳の物語・落語の楽しみ方を紹介する、まったく新しい入門書。</p>	<p>税込¥946</p> 
<p>98</p> 	<p><b>私たちはどこから来て、どこへ行くのか：生粋の文系が模索するサイエンスの最先端</b></p> <p>(ちくま文庫) 森達也</p> <p>2020/10 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436894</p> <p>NDC:460.4</p> <p>443p B判 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「私たちはなぜ生きて、なぜ死ぬのか?」忙しい毎日のなかで忘れてしまうこの根源的な命題に、答えはあるのか。「How (いかに)」ではなく「Why (なぜ)」を問うことで見えてきたのは、最先端で奮闘する科学者たちの葛藤だった。いまの科学にわかること/わからないことは何か。「圧倒的に文系」な著者による、緊迫感に満ちた理系入門。</p>	<p>税込¥1,045</p> 
<p>99</p> 	<p><b>10年後、君に仕事はあるのか?</b></p> <p>(ちくま文庫) 藤原和博 (著述家)</p> <p>2020/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436900</p> <p>NDC:159</p> <p>304p B判 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「10年後の世界はどうなっているのか?」「不確かな未来を生き抜くためには、どんな力を身につけるべきなのか?」AIの登場で消滅する仕事があり、また新型コロナウイルスの流行で仕事のスタイルも変わる社会への対処法を、高校生に語りかけるスタイルで伝授する。2020年代を生き抜くための「雇われる力」とは何か?文庫版の特典は橘玲の書き下ろしエッセイ。「人生の教科書」コレクション第3弾。</p>	<p>税込¥880</p> 
<p>100</p> 	<p><b>遠くの街に犬の吠える</b></p> <p>(ちくま文庫) 吉田篤弘</p> <p>2020/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436917</p> <p>NDC:913.6</p> <p>256p B判 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>差し出した掌へはらはらと舞い降りてくる白い小さな花びらのようなものは、万年筆の青インクがにじんだ文字の断片をのせた、ちぎれた便箋だった。消えゆく声、届かなかった言葉、過去の音、コピー、古びたビルディング、屋上...いくつもの偶然によって織りあげられる吉田篤弘の世界。秘められた恋と、ささやかな冒険のものがたりが始まる。著者による解説「遠吠えの聞こえる夜」収録。</p>	<p>税込¥814</p> 
<p>101</p> 	<p><b>吸血鬼飼育法 -- 完全版</b></p> <p>(ちくま文庫) 都筑道夫：日下三蔵</p> <p>2020/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436924</p> <p>NDC:913.6</p> <p>429p B判 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>渋谷宮益坂に怪しげな事務所「f a a」を構え、所長かつ唯一の所属でもある“一匹狼”片岡直次郎は、警察に頼めないトラブルの収束屋。警官隊の包囲から殺人犯を脱出させる方法やエレベーターで人質にされた少女の救出まで、どんな無理難題も見事に(時には思わぬ手段で)解決する。予測不能な結末必至の活劇連作が、編者の詳細な解説や入手困難な原型となった作品を加え“完全版”として復活。</p>	<p>税込¥990</p> 
<p>102</p> 	<p><b>ひと・ひと・人：井上ひさしベスト・エッセイ続</b></p> <p>(ちくま文庫) 井上ひさし：井上ユリ</p> <p>2020/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480436931</p> <p>NDC:914.6</p> <p>363p B判 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>没後10年、数多くの小説・戯曲を残し、社会的問題への発言も最後まで続けた著者のベスト・エッセイ第2弾。道元、平賀源内、安藤昌益、吉野作造、アンネ・フランク、宮沢賢治、菊池寛、司馬遼太郎、松本清張、千葉茂、ピラー・ワイルダー、渥美清、黒柳徹子、母...尊敬し憧れ愛した人々、共に影響を与え合いながら仕事をした人々の人物像や作品を独特の視点からつづるエッセイ集。</p>	<p>税込¥990</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>103</p> 	<p><b>ゴシック文学入門</b></p> <p>(ちくま文庫) 東雅夫 2020/09 筑摩書房 ISBN:9784480436948</p> <p>NDC:902.3 308 p B判 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>ゴシック文学の世界に参入するための、かつてない入門書、ここに誕生！ 幻想文学のエキスパートたる日本の文豪・学匠たちが、泰西ゴシックの魅惑を達意の筆で解き明かすエッセイと論考14篇を収録。</p>	<p>税込¥1,045</p> 
<p>104</p> 	<p><b>処生術：自分らしく生きる方法</b></p> <p>(ちくま文庫) 藤原和博(著述家) 2020/12 筑摩書房 ISBN:9784480436962</p> <p>NDC:914.6 314 p B判 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「元祖、人生の教科書！」著者のデビュー作にして代表作『処生術』と、その後書かれた『プライド処生術2』も加え再編集した完全版。ある日、「モーレツサラリーマンの私」は我に返った。「自分の人生」の主人公として生きるためにどうするか？ 会社・仕事・生活を変えて、自分の時間を取り戻す発想を提案する。文庫版の特典は、勝間和代の書き下ろしエッセイ。「人生の教科書」コレクション第4弾。</p>	<p>税込¥880</p> 
<p>105</p> 	<p><b>ゴシック文学神髄</b></p> <p>(ちくま文庫) 東雅夫 2020/10 筑摩書房 ISBN:9784480436979</p> <p>NDC:933 525 p B判 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>ホラー、ミステリー、SF、伝奇など、あらゆるエンターテインメント文芸の源流であるゴシック文学の豪奢で奥深き世界。その幕開けを告げた「オトラント城綺譚」と「ヴァテック」の両傑作に、掉尾を飾る「死妖姫」（「カーミラ」の本邦処訳）を加えた窮極の「三大名作」が、この一冊に！ さらに、ボオ&amp;ドレ&amp;日夏耿之介による詩画集「大鴉」を併録。貴方を魔界へと誘う精華集。</p>	<p>税込¥1,430</p> 
<p>106</p> 	<p><b>評伝開高健：生きた、書いた、ぶつかった！</b></p> <p>(ちくま文庫) 小玉武 2020/10 筑摩書房 ISBN:9784480436986</p> <p>NDC:910.268 471 p B判 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>伝説的な雑誌『洋酒天国』の編集者、サントリー宣伝部の黄金時代を築いたコピーライター、文化財団創設などを発案した企業文化のプロデューサー、『ずばり東京』や『ベトナム戦記』などのノンフィクション、そして芥川賞受賞作『裸の王様』から『珠玉』に至る小説家としての仕事…。開高健の多彩な仕事と人生を、サントリー宣伝部に入社以来、内側から見つめてきた著者による貴重な評伝。</p>	<p>税込¥1,210</p> 
<p>107</p> 	<p><b>現実脱出論 -- 増補版</b></p> <p>(ちくま文庫) 坂口恭平 2020/11 筑摩書房 ISBN:9784480437006</p> <p>NDC:914.6 276 p B判 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>私たちが「現実」だと思って縛られているものから自由になる！ 17歳のときに、98歳で死期を迎える自分を設定して楽になった話。「脳の誤作動」である鬱状態に陥ったらどうするか。「半現実」のつくりかた、など目の前の「現実」が違って見え、驚きの世界を体験できる本。文庫化にあたり、最終章「現実創造論」を書き下ろし、さらに健康になる具体的な方法を伝授。</p>	<p>税込¥814</p> 
<p>108</p> 	<p><b>母のレシピノートから</b></p> <p>(ちくま文庫) 伊藤まさこ 2020/10 筑摩書房 ISBN:9784480437013</p> <p>NDC:596 189 p B判 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>古い大学ノートに40年綴られてきた母のレシピ。それは伊藤まさこさんの料理の原点であり、娘にも伝えた懐かしい味と記憶。じゃがいもを入れるロールキャベツ、大勢が集まる日の定番バエリア、パウンドケーキ、持ち手つき唐揚げ、ポタージュスープなど、日々の繰り返しの中で、くすもせず、無理もせず、食卓を彩ってきた料理のわずかながら、どんな時代のテーブルも幸せにしてくれます。文庫版では、さらに新しいエッセイを加えました！</p>	<p>税込¥946</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>109</p> 	<p><b>ひきこもりグルメ紀行</b></p> <p>(ちくま文庫) カレイ沢薫</p> <p>2020/11 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437020</p> <p>NDC:588.04</p> <p>265 p プン 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>せちがらい世の中、心を慰めるのはおいしい食べ物である。不惑を前にして無職となり、いよいよ出不精に磨きのかかった漫画家が「おとりよせ」を駆使してご当地名物を味わいつくす稀代の「ぐうたら系」グルメコラム。仙台銘菓「秋の月」にそっくりな菓子が五十も現れたかと思えば、齧りついた揚げ菓子で100万円のインプラントが粉碎…。波乱の美食を乗り越えて、愛する「博多通りもん」を超える逸品に出会えるのか？ゆかいな脳内旅行をあなたに。</p>	<p>税込¥858</p> 
<p>110</p> 	<p><b>ブルースだってただの唄：黒人女性の仕事と生活</b></p> <p>(ちくま文庫) 藤本和子</p> <p>2020/11 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437037</p> <p>NDC:367.253</p> <p>316 p プン 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>1980年代、アメリカに暮らす著者は、黒人女性の聞き書きをしていた。出かけて行って話を聞くのは、刑務所の臨床心理医やテレビ局オーナーなどの働く女たち、街に開かれた刑務所の女たち、アトランタで暮らす104歳の女性…。彼女たちは、黒人や女性に対する差別、困難に遭いながら、仕事をし、考え、話し合い、笑い、生き延びてきた。著者はその話に耳を澄まし、彼女たちの思いを書きとめた。白眉の聞き書きに1篇を増補。</p>	<p>税込¥990</p> 
<p>111</p> 	<p><b>ノベライズ太陽にほえる！</b></p> <p>(ちくま文庫) 岡田晋吉</p> <p>2020/12 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437044</p> <p>NDC:913.6</p> <p>331 p プン 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>萩原健一、松田優作、露口茂と多くの人気俳優を生み出し、圧倒的な人気を誇った刑事ドラマ「太陽にほえる！」。本書では、伝説的な「神回」のノベライズを収録。型破りな若手刑事マカロニの登場、いまでも語り継がれるジーバンの殉職、「落としのヤマさん」の名推理。七曲署の熱い男たちが文庫で蘇る！シンコ（高橋（関根）恵子）と編者の特別対談も収録。</p>	<p>税込¥990</p> 
<p>112</p> 	<p><b>普段着の住宅術</b></p> <p>(ちくま文庫) 中村好文</p> <p>2020/12 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437051</p> <p>NDC:527.04</p> <p>300 p プン 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>目いっぱいおしゃれをして自立住宅ではなく、住む人の生活を穏やかに受け入れる家、一つ屋根の下に生活のすべてがすっぽりとバランスよく収まっている家。そんな家で暮らしたい。居心地のよい住宅づくりで定評のある建築家が、みずからの体験を踏まえた住宅論から、家具や愛読書に至るまでを語る。想像の中で自身が住み手となることで生まれてくる間取りや設計上の工夫とは、どんなものなのだろう。暮らす豊かさの滋味を味わう建築書の名著。文庫化に際し、「建築家の本棚から」など大幅に加筆。</p>	<p>税込¥968</p> 
<p>113</p> 	<p><b>歌を探して：友部正人自選エッセイ集</b></p> <p>(ちくま文庫) 友部正人</p> <p>2020/12 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437068</p> <p>NDC:764.7</p> <p>352 p プン 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>言葉の感覚の鋭さで1972年のデビュー以来、高く評価されるミュージシャンが自ら編んだエッセイ集。尖った感性の『ちんちくりん』（78年）、毎日が新鮮な『生活が好きになった』（86年）、予期せぬ国に滞在することになる『バリの友だち』（91年）、詩と音楽の日々『ニューヨークの半熟卵』（2003年）、そして未収録作や書き下ろしも。解説：谷川俊太郎、帯文：森山直太郎。</p>	<p>税込¥1,045</p> 
<p>114</p> 	<p><b>悪魔が憐れむ歌：暗黒映画入門</b></p> <p>(ちくま文庫) 高橋ヨシキ</p> <p>2021/02 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437075</p> <p>NDC:778.04</p> <p>372 p プン 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>映画の世界には、政治的に正しくなく、安っぽいショックに満ち、度を越した暴力と破壊を描き、だからこそ救いになる表現が生き残っている。ヤコベッティのドキュメンタリーから、『ロッキー・ホラー・ショー』、スビルバーグから『エクソシスト』まで、呪詛とエンターテインメント精神で語りつくす。映画の中に「絶望と恐怖」という友人を見出すための案内書。</p>	<p>税込¥1,045</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>115</p> 	<p><b>適切な世界の適切ならざる私</b></p> <p>(ちくま文庫) 文月悠光</p> <p>2020/11 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437099</p> <p>NDC:911.56</p> <p>158 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「だから／おいてこいよ、ことば。」「されば、私は学校帰りに／月までとばなくてはならない。」学校と自宅の往復を、まるで世界の淵を歩くようなスリリングな冒険として掴みとってみせた当時十代の詩人のパンチラインの数々は「現代詩」を現代の詩としてみずみずしく再生させた。中原中也賞と丸山豊記念現代詩賞に輝く傑作詩集が待望の文庫化！</p>	<p>税込¥748</p> 
<p>116</p> 	<p>原題:The Great Influenza:THE STORY OF THE DEADLIEST PANDEMIC IN HISTORY (Barry,John M.)</p> <p><b>グレート・インフルエンザ：ウイルスに立ち向かった科学者たち 上</b></p> <p>(ちくま文庫) ジョン・バリー：平沢正夫</p> <p>2021/01 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437112</p> <p>NDC:493.87</p> <p>406 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>1918年から1919年にかけて、世界的大流行を見せた「スペイン風邪」。その発祥地は、実はアメリカ・カンザスだった。アメリカの第一次世界大戦参戦をきっかけにして、ヨーロッパを巻き込んだ歴史的パンデミックが引き起こされる。ウイルスの感染拡大に抵抗した医学者たちの軌跡を生々しい筆致で描いた第一級のドキュメント、待望の文庫化。</p>	<p>税込¥1,320</p> 
<p>117</p> 	<p>原題:The Great Influenza:THE STORY OF THE DEADLIEST PANDEMIC IN HISTORY (Barry,John M.)</p> <p><b>グレート・インフルエンザ：ウイルスに立ち向かった科学者たち 下</b></p> <p>(ちくま文庫) ジョン・バリー：平沢正夫</p> <p>2021/01 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437129</p> <p>NDC:493.87</p> <p>368 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「スペイン風邪」の流行が世界をパニックに陥れるなか、危機に立ち向かうとするひとびとがいた。どうすればこの凶悪なウイルスを封じ込めることができるのか、科学者たちの懸命な探求が続く。歴史が我々に残した、パンデミックの時代を生きていくための教訓とは何か。これからも読み継がれるべき、迫真のノンフィクション。</p>	<p>税込¥1,430</p> 
<p>118</p> 	<p><b>噺は生きている：「古典落語」進化論</b></p> <p>(ちくま文庫) 広瀬和生</p> <p>2021/01 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437136</p> <p>NDC:779.13</p> <p>395 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>同じ「芝浜」は一つとしてない。志ん生、文楽、圓生ら昭和の名人から、志ん朝、談志、さらには小三治、談春、一之輔など現役トップの落語家まで、彼らは「古典落語」の代表的演目を分析し、アレンジを加え、ときに解体もしながら、どう演じてきたのか。演目の進化から落語の「本質」に迫る、画期的落語評論。文庫化にあたり、「死神」「居残り佐平次」「子別れ」についての書き下ろしを増補。</p>	<p>税込¥1,045</p> 
<p>119</p> 	<p><b>翻訳教室：はじめの一步</b></p> <p>(ちくま文庫) 鴻巣友季子</p> <p>2021/02 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437143</p> <p>NDC:801.7</p> <p>212 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>文芸翻訳の第一線で活躍し続ける著者が、母校の小学校で開催したユニークな「翻訳教室」。英語にほとんどなじみのなかった子どもたちとともに、名作絵本『The Missing Piece』の翻訳に挑戦する。そのとおきのレッスンを一冊に。「外国語を訳す」とは一体どういうことなのだろう？ 小手先の技術やテストのためだけの勉強ではなく、母語ではない他者の言葉と向き合うための「はじめの一步」を本当の意味から考えていく、珠玉の入門書。</p>	<p>税込¥880</p> 
<p>120</p> 	<p><b>幻の女：ミステリ短篇傑作選</b></p> <p>(ちくま文庫) 田中小実昌：日下三蔵</p> <p>2021/01 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437150</p> <p>NDC:913.6</p> <p>391 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>狂った男が異様なテンションで昔馴染みの女性について独白する「幻の女」、天国とこの世を行き来して自分を殺した犯人を探す「たたけよさらば」他、予測不能の結末、設定や形式、登場人物までが奇妙かつ巧妙に組み上げられた作品群。1960年代から70年代に執筆された“異色”過ぎる物語15編が初の文庫化。「ミステリ作家田中小実昌」の軌跡を追った日下三蔵による詳細な解説も収録。</p>	<p>税込¥924</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>121</p> 	<p><b>神保町「ガロ編集室」界限</b></p> <p>(ちくま文庫)</p> <p>高野慎三</p> <p>NDC:726.1</p> <p>2021/02 筑摩書房 310 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480437167 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>1960年代末、マンガ、映画、演劇、アート、さまざまな表現分野で変革の波が起きていた。その中心にあった、白土三平「カムイ伝」連載の『月刊漫画ガロ』編集部に本書著者は転職する。そして、長井勝一編集長のもと、つげ義春「ねじ式」、滝田ゆう「寺島町奇譚」誕生の瞬間、林静一、佐々木マキらのデビューの場に立ち会う。その後、北冬書房を設立し今も活動は続く。巻末対談、つげ正助。</p>	<p>税込¥990</p> 
<p>122</p> 	<p><b>本土の人間は知らないが、沖縄の人はみんな知っていること</b></p> <p>(ちくま文庫)</p> <p>矢部宏治：須田慎太郎</p> <p>NDC:395</p> <p>2020/12 筑摩書房 272 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480437174 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「沖縄・超初心者」だった著者が、ツテナシ・コネナシで沖縄の米軍基地を体当たりで取材。普天間、辺野古、嘉手納、ホワイトビーチなど沖縄本島にある全米軍基地を探訪し、「戦後日本」に封印された驚くべき事実をあばいていく。ノンフィクション作家・矢部宏治の痛快無比なデビュー作。カラー写真・地図満載。</p>	<p>税込¥990</p> 
<p>123</p> 	<p><b>明日は日曜日</b></p> <p>(ちくま文庫)</p> <p>源氏鶏太</p> <p>NDC:913.6</p> <p>2021/02 筑摩書房 352 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480437181 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>総務課に勤める桜井大伍は、同期の山吹桃子とともに、社内外に巻き起こるドタバタ事件に次々と巻き込まれる。1950年代、懐かしい“昭和”の牧歌的な空気の中、魅力的な登場人物たちが、恋や仕事に右往左往する姿をユーモラスかつキュートに描くラブコメディ。各話「明日は日曜日」と締め括られる構成も魅力的で、「今」読むからこそ新鮮な13編からなる連作短編小説。</p>	<p>税込¥836</p> 
<p>124</p> 	<p><b>関西フォークがやって来た！：五つの赤い風船の時代</b></p> <p>(ちくま文庫)</p> <p>なぎら健彦</p> <p>NDC:767.8</p> <p>2021/05 筑摩書房 350 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480437198 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>1960年代、商業主義的だったフォーク・ソングに強烈なNOを突きつけ、社会の理不尽に抗う歌を発表した「関西フォーク」。シーンを牽引した「五つの赤い風船」のリーダー・西岡たかしへのインタビューをもとに、関西フォークの歴史をたどる。高田渡、ザ・フォーク・クルセダーズ、吉田拓郎などの接点を視野にいれ、大阪・京都で「1968年」に奇跡的な輝きを放ったアンガラ・フォークの魅力語る。</p>	<p>税込¥990</p> 
<p>125</p> 	<p><b>はたらかないで、たらふく食べたい：「生の負債」からの解放宣言 -- 増補版</b></p> <p>(ちくま文庫)</p> <p>栗原康</p> <p>NDC:304</p> <p>2021/02 筑摩書房 278 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480437204 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「おまえは使えるなどいわれてホメられたらすこしはうれしい。だけどそんなことをしていたら死ぬまでこきつかわれてやりたいこともできない」。使える奴隷よりも、困われた家を捨て、野に放たれた豚になりたい。高群逸枝、伊藤野枝、一遍上人、幸徳秋水、イソップ物語…。呪縛から解放される爆笑社会エッセイ。豚はわたしだ！文庫化にあたり約50頁増補！</p>	<p>税込¥902</p> 
<p>126</p> 	<p><b>B級グルメで世界一周</b></p> <p>(ちくま文庫)</p> <p>東海林さだお</p> <p>NDC:596.04</p> <p>2021/01 筑摩書房 319 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480437211 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>世界のB級グルメを求めてアタコン(頭が混乱)、メチバ(目が血走る)、テフル(手が震える)で食べ歩く。小籠包の謎に挑み、チーズフォンデュを見直し、英国式紅茶体験にテレ、ホットドッグを叫びつけ、シユラスコに恋をする。それでも醤油一滴の味に焦がれるのがショージ流?!長期連載「あれも食いたいこれも食いたい」シリーズより48篇をえりぬき。</p>	<p>税込¥968</p> 


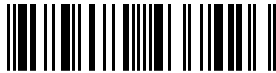

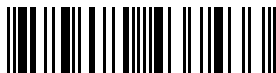








筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>127</p> 	<p><b>シャネル：その言葉と仕事の秘密</b></p> <p>(ちくま文庫) 山田登世子</p> <p>NDC:289.3</p> <p>2021/03 筑摩書房 240 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480437228 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>20世紀で最も成功した起業家の一人、ココ・シャネル。漆黒のドレスにショートカット、リップスティック、ショルダーバッグ。旧来のファッションに対するテロルによって「皆殺しの天使」と呼ばれた彼女は、女性の身体を解放し、今日における「当たり前」を幾つも生み出した。その強烈な「語録」から、類まれなる人生と伝説を読み解いていく究極のシャネル論！</p>	<p>税込¥968</p> 
<p>128</p> 	<p><b>妹たちへ：矢川澄子ベスト・エッセイ</b></p> <p>(ちくま文庫) 矢川澄子：早川茉莉</p> <p>NDC:914.6</p> <p>2021/03 筑摩書房 447 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480437273 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>この少女は不言を金科玉条とし、「お話をかくひと」を夢見た 澁澤龍彦の最初の夫人であり、アナイス・ニンヤルイス・キャロルのすぐれた紹介者であり、孤高の感性としなやかな知性の持ち主であった矢川澄子。その作品にさまざまな角度から光を当て、幼い日々、思い出の人々、高原暮らし、少女 反少女論、文学論などのテーマで織り上げる。密やかに、けれども強く輝く珠玉のアンソロジー。</p>	<p>税込¥1,045</p> 
<p>129</p> 	<p><b>石の文学館：鉱物の眠り、砂の思考</b></p> <p>(ちくま文庫) 和田博文</p> <p>NDC:918.6</p> <p>2021/04 筑摩書房 395 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480437297 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>玄武岩や方解石を集める少年の収集熱を描いた稲垣足穂も、世界中を旅して方々の石を持ち帰った草野心平も、イスタンブールの宝飾品に我を忘れた塩野七生も、太古の水を宿した瑪瑙に「塔に閉じこめられた姫君」を夢想する澁澤龍彦も...私たちはみな、掌に収まる石に耳を寄せ、その石が湛える悠久の時間の声を聞こうとする。あなたの石はここにありますか？すべての石好きに贈る七色に輝く38篇。</p>	<p>税込¥924</p> 
<p>130</p> 	<p><b>『新青年』名作コレクション</b></p> <p>(ちくま文庫) 『新青年』研究会</p> <p>NDC:913.68</p> <p>2021/04 筑摩書房 608 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480437303 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>探偵小説の牙城として江戸川乱歩をはじめ多くの作家を輩出した伝説の雑誌『新青年』。創刊100年、終刊70年という時間を隔て、雑誌が生きた時代の営みが意味深く見えてくる。本書は年代別に5つの章で構成、探偵小説の定番に限らず、現代的観点からの魅力を踏まえ、評論や編集後記、戦中戦後の諸作品も多数収録し、各章、各作品には解説を附す。新たな視座で編まれた『新青年』傑作集の誕生。</p>	<p>税込¥1,760</p> 
<p>131</p> 	<p><b>おれたちと大砲</b></p> <p>(ちくま文庫) 井上ひさし</p> <p>NDC:913.6</p> <p>2021/04 筑摩書房 480 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480437334 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>將軍様の尿管役、草履持、髪結の職に御駕籠の者、馬方爪髪役...代々將軍の身の回りの世話をする家の跡取りに生まれた若者五人。また正式に家代々のお役に就けないうちに大政奉還となる。將軍慶喜様をなんとか助けようとする端役ながらも東奔西走する彼らを時代は待ってくれるのか。爆笑と哀愁の幕末青春グラフィティ。</p>	<p>税込¥990</p> 
<p>132</p> 	<p><b>先端で、さすわさされるわそらええわ</b></p> <p>(ちくま文庫) 川上未映子</p> <p>NDC:911.56</p> <p>2021/04 筑摩書房 155 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480437341 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「ねえ、わたしのいっとう好きな意味は、どうして。」(「先端で、さすわさされるわそらええわ」)このことばを書き終えたところから川上未映子の文筆における創造は始まった。純粹にして巨大な疑問符は既知の世界を圧倒的な速度と鋭さで切り裂き、清新なヴィジョンを次々に現前せしめていく。伝説的デビューを飾った表題作を含む珠玉の七編、第14回中原中也賞に輝く第一詩集が待望の文庫化！</p>	<p>税込¥660</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>133</p> 	<p><b>水瓶</b></p> <p>(ちくま文庫) 川上未映子</p> <p>2021/06 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437358</p> <p>NDC:913.6</p> <p>151 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「少女は午前11時きっかりに家を出て、バスを選んでバスにのって、水瓶を置き去りにするために、6年ぶりに渋谷へでかける。」(「水瓶」)世界のすべてを見通した少女がその身を投じる、生涯でたった一度、そして無限に繰り返される精神と身体の大冒険。奔放にして豊潤、鋭くにして濃密に広がる想像力が織りなす九編の詩的宇宙。第43回高見順賞を受賞した第二詩集、ついに文庫化!</p>	<p>税込¥660</p> 
<p>134</p> 	<p><b>35歳の教科書：今から始める戦略的人生計画</b></p> <p>(ちくま文庫) 藤原和博(著述家)</p> <p>2021/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437365</p> <p>NDC:159</p> <p>222 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>自分しかできない仕事をやっているか。組織に埋没していないか。定年後に自分の居場所はあるか。…会社に居続けても先はわからず、世界中がどうなるか不透明な時代に、どう働き、生きるべきなのか。会社員から中学、高校の校長に転身、梓にとらわれない人生を生き続ける著者が説く戦略的な人生計画とは。文庫版の特典は、古市憲寿の書き下ろしエッセイ。「人生の教科書」コレクション第5弾。</p>	<p>税込¥880</p> 
<p>135</p> 	<p><b>世界奇食大全 -- 増補版</b></p> <p>(ちくま文庫) 杉岡幸徳</p> <p>2021/04 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437389</p> <p>NDC:383.8</p> <p>320 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>ラクダのごぶ、サソリ、ウマのたてがみから、土のスープ、樹液、みかんご飯、甘ロイチゴスパ、そして紙、蚊の目玉のスープまで。伝統食品あり幻の珍グルメあり。「奇食とは、人間世界の謎を開ける鍵なのだ」という著者の、悶絶必至、味の大冒険。人間の業の深さを実感する珍グルメ全集。文庫化にあたり、パンカツ、トド、イソギンチャク、蘇など8品を増補。全56品。</p>	<p>税込¥880</p> 
<p>136</p> 	<p><b>理不尽な進化：遺伝子と運のあいだ -- 増補新版</b></p> <p>(ちくま文庫) 吉川浩満</p> <p>2021/04 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437396</p> <p>NDC:467.5</p> <p>448 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>生物種の99.9パーセントが絶滅する。生物の歴史はずいぶん「理不尽」な遍歴をたどってきた。本書は、絶滅という観点から生物の歴史を眺め、俗説が人びとを魅了する構造を理解することで、進化論の本当のおもしろさを読者に差し出す。アートとサイエンスを全方位的に見渡し、かつ両者をあざやかにむすぶ、現代の名著がついに文庫化。</p>	<p>税込¥1,210</p> 
<p>137</p> 	<p><b>野に咲く花の生態図鑑【春夏篇】</b></p> <p>(ちくま文庫) 多田多恵子</p> <p>2021/05 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437402</p> <p>NDC:470</p> <p>208 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>オオイヌノフグリ青い瞳の花の秘策、虫を騙して命も奪うムサシアブミの花、キノコに養われる純白のギンリョウソウなど、野に生きる植物たちの美しさとしたたかさに満ちた生存戦略の数々。『したたかな植物たち』、『美しき小さな雑草の花図鑑』などの著作で人気の著者が植物への愛をこめて綴る珠玉の植物エッセイ集。</p>	<p>税込¥990</p> 
<p>138</p> 	<p><b>眼の冒険：デザインの道具箱</b></p> <p>(ちくま文庫) 松田行正</p> <p>2021/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437419</p> <p>NDC:704</p> <p>430 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>星雲、指紋、素粒子の飛跡。フトンタタキ、ケルトの装飾、コルビュジエのモジュール…。ある種の図像から呼び起されるイメージを整理し、歴史や文化的な文脈を超えて顕れる象徴的な意味を読み解くことで、私たちが無意識に行っているデザインの思考の臨界点にせまる。「私たちの思考の衰弱を衝く一冊」(鷺田清一「解説に代えて」より)。図版資料満載の美装文庫。</p>	<p>税込¥1,650</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>139</p> 	<p><b>読書からはじまる</b></p> <p>(ちくま文庫)</p> <p>長田弘</p> <p>2021/05 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437426</p> <p>NDC:019</p> <p>223p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「読まない本」にゆたかさがある。「たくさん読む」が正解ではない。「一生忘れない」なんて嘘？最も長く、最も深く人類と共に在り続けてきた「本」というメディアは、私たちの想像よりもずっと優しく、あらゆることを許してくれる友人だ。本はあなたを孤独にしない。読書が苦手、活字に疲れた。そんな本音にもあたたかに寄り添う、「人間」を楽しむ至高のエッセイ。</p>	<p>税込¥792</p> 
<p>140</p> 	<p><b>妖精悪女解剖図 -- 増補版</b></p> <p>(ちくま文庫)</p> <p>都筑道夫：日下三蔵</p> <p>2021/05 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437433</p> <p>NDC:913.6</p> <p>440p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>若い男との同様の末、殺害を決意する女の想い、喫茶店に嫌がらせの落書きを続ける女の目的、給料強盗事件の真相を知ったことで性格が豹変する女の心理。「女性」を各作品のメインに据えたサスペンス小説集。彼女たちの行動や思惑、二面性が物語に波乱を巻き起こし予測不能の結末を用意する。単行本未収録の短篇2作を増補し、日下三蔵氏の詳細な解説を付した。鬼才・都筑道夫の隠れた名作。</p>	<p>税込¥1,100</p> 
<p>141</p> 	<p><b>蒋介石を救った帝国軍人：台湾軍事顧問団・白団の真相</b></p> <p>(ちくま文庫)</p> <p>野嶋剛</p> <p>2021/06 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437440</p> <p>NDC:392.224</p> <p>487p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>日中戦争後、二介石は帝国軍人による軍事顧問団・白団を組織させた。直前まで宿敵だった者同士が手を結ぶことができたのは、なぜか。米国のフーバー研究所で公開された、二介石の50年を超える日記、白団の生存者たちの肉声、さらに台湾軍上層部の証言を集めた。敗戦国軍人の思い、二介石の真意とは。</p>	<p>税込¥1,540</p> 
<p>142</p> 	<p><b>宿で死ぬ：旅泊ホラー傑作選</b></p> <p>(ちくま文庫)</p> <p>朝宮運河</p> <p>2021/06 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437464</p> <p>NDC:913.68</p> <p>307p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>ひっそりと佇む老舗の旅館や、どこか懐かしいグランド・ホテル。非日常に飛び込む旅の疲れを癒し、心やすらぐべき「宿」を舞台としたホラー作品は今も昔も人の心を惹きつけ続ける。その空間に満ちているのは、恐怖しさ、不気味さ、残酷さ、美しさ、そして...? 「逃亡不可能」な短編を一挙集結！珠玉の傑作アンソロジー。</p>	<p>税込¥990</p> 
<p>143</p> 	<p><b>輝け！キネマ：巨匠と名優はかくして燃えた</b></p> <p>(ちくま文庫)</p> <p>西村雄一郎</p> <p>2021/06 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437471</p> <p>NDC:778.21</p> <p>285p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>日本映画の黄金期を支えた、巨匠と名優たち。小津安二郎と原節子、溝口健二と田中絹代、木下恵介と高峰秀子、黒澤明と三船敏郎。ゴールデンコンビによる数々の名作。その誕生の裏に隠された壮絶な人間ドラマとは？NHK第2「カルチャーラジオ」で好評を得た「日本映画の黄金期を支えた監督とスターたち」を大幅に改稿した、文庫オリジナル。</p>	<p>税込¥880</p> 
<p>144</p> 	<p><b>45歳の教科書：モードチェンジのすすめ</b></p> <p>(ちくま文庫)</p> <p>藤原和博(著述家)</p> <p>2021/06 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437488</p> <p>NDC:159</p> <p>259p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>誰もが90代まで生きるこれからの時代、折り返し点の「40代半ばの決断」が人生全体の充実度を決める鍵となる。40代後半にリクルートから教育界に転身した著者が、自身の経験もふまえ、迷える世代に向けてアドバイス。読むと将来に対する不安と迷いが消え、元気が湧いてくる人生戦略論。文庫だけの特典として、為末大氏との対談を附す。「人生の教科書」コレクション第6弾。</p>	<p>税込¥880</p> 



筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>145</p> 	<p><b>愛についてのデッサン：野呂邦暢作品集</b></p> <p>(ちくま文庫) 野呂邦暢：岡崎武志</p> <p>2021/06 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437495</p> <p>NDC:913.6</p> <p>414 p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>初の文庫化となる表題作「愛についてのデッサン」は、古本屋稼業に静かな情熱を燃やす若き店主、佐古啓介が謎めいた恋や絡みあう人間模様を、古書を通してそれぞれの事情を解き明かす異色の青春小説として根強い人気を誇る傑作。この他、現在は入手困難になっている短篇小説も収録し、編者・岡崎武志氏による解説を付す。夭折の芥川賞作家、「小説の名手」による貴重な作品集が待望の文庫化。</p>	<p>税込¥990</p> 
<p>146</p> 	<p><b>青春ドラマ夢伝説：「俺たちシリーズ」などとTVドラマの黄金時代</b></p> <p>(ちくま文庫) 岡田晋吉</p> <p>2021/07 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437501</p> <p>NDC:778.8</p> <p>320 p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>『青春とはなんだ』『太陽にほえろ!』『傷だらけの天使』『俺たちの旅』『あぶない刑事』...。テレビ史に燦然と輝く名作ドラマを数多く手掛けた敏腕TVプロデューサーが語る制作秘話と仕事術。中村雅俊、竜雷太、松田優作など、あの時代を象徴する俳優たちの撮影風景を収めた写真を多数収録。涙と笑いと感動の「昭和の傑作ドラマ」が文庫でよみがえる!</p>	<p>税込¥990</p> 
<p>147</p> 	<p><b>向田邦子シナリオ集：昭和の人間ドラマ</b></p> <p>(ちくま文庫) 向田邦子：向田和子</p> <p>2021/07 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437518</p> <p>NDC:912.7</p> <p>337 p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>隣人とその愛人、愛人と本妻、親子もどき、姉と妹...登場人物たちが織りなす、濃密で奇妙で少しやっかいな人間関係。人の温もりとあの懐かしい昭和の息づかい、迷いながら人間らしく生きる人々がここに。向田邦子のテレビドラマ脚本のなかから一話完結作「隣りの女」「きんぎょの夢」「毛糸の指輪」「眠り人形」「七人の刑事(十七歳三ヶ月)」の五篇を収録。</p>	<p>税込¥990</p> 
<p>148</p> 	<p><b>アイヌの世界に生きる</b></p> <p>(ちくま文庫) 茅辺かのう</p> <p>2021/07 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437525</p> <p>NDC:382.11</p> <p>224 p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「トキさん」は1906年、十勝の入植者の子どもとして生まれ、口減らしのため、生後すぐにアイヌの家族へ養女として引き取られた。和人として生まれたが、アイヌの娘として育った彼女が、大切に覚えてきたアイヌの言葉、暮らし。明治末から大正・昭和の戦前戦後を、鋭い感覚と強い自立心でアイヌの人々と共に生き抜いてきた女性の人生を描く優れた聞き書き。</p>	<p>税込¥924</p> 
<p>149</p> 	<p><b>ガケ書房の頃完全版：そしてホホホ座へ</b></p> <p>(ちくま文庫) 山下賢二</p> <p>2021/08 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437532</p> <p>NDC:024.067</p> <p>288 p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>2004年京都市左京区に開店。2015年にホホホ座へと発展してきたガケ書房。インパクトある外観と独自の品揃え、店内ライブなどで唯一無二の存在となり、全国の読者や作家、ミュージシャンに愛されてきた。筆談で過ごした子供時代、様々な仕事の体験、開業後の資金繰り、セレクトというモノの売り方への違和感などを本音で綴った青春記</p>	<p>税込¥880</p> 
<p>150</p> 	<p><b>哀愁新宿円舞曲 -- 増補版</b></p> <p>(ちくま文庫) 都筑道夫：日下三蔵</p> <p>2021/07 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437549</p> <p>NDC:913.6</p> <p>464 p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>1950年代の新宿、青線地帯での男女の交わりを描いた人情話「娼婦の街」「歌舞伎町夜景」、日記や手紙で構成され思いもよらない結末で読ませるサスペンス「狂犬日記」「手紙の毒」他、様々な題材や形式を用いて、都会の街角で生きる人々の歎びと悲しみ、笑いを描いた鬼才・都筑道夫のエッセンスが詰まった幻の短篇集。2作品と日下三蔵氏の解説を加え、増補版として待望の文庫化。</p>	<p>税込¥1,210</p> 


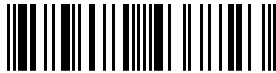

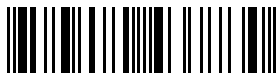




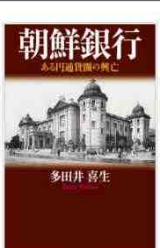



筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>151</p> 	<p><b>いっばしの女 -- 新版</b></p> <p>(ちくま文庫) 氷室冴子</p> <p>2021/07 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437556</p> <p>NDC:914.6</p> <p>224 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>あなた、やっぱり処女なんですよ。「少女小説家」は嘲笑された。『なんて素敵にジャパネスク』『クララ白書』ほかベストセラーを多数送り出し、セクハラという言葉が世間に登場し始めた頃、「いっばし」の年齢・三十歳を超えた著者。女としてただ社会に在るだけで四方八方から襲い来る違和感を、まっすぐに、そして鮮やかに描いた不朽のエッセイが満を持して復刊!</p>	<p>税込¥770</p> 
<p>152</p> 	<p><b>おじさん酒場 -- 増補新版</b></p> <p>(ちくま文庫) 山田真由美 : なかむらるみ</p> <p>2021/08 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437563</p> <p>NDC:673.9</p> <p>326 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「おじさん酒場」とは「そこに居るだけで店のおさまりがよくなるおじさんが、単独あるいは連れと共に心から愉しんで酒を呑んでいる、または、見ていてそう感じずにはいられない、景色のいい居酒屋のこと」。居酒屋から始まる夜の冒険へ読者をご招待。さあ、読んで酒を飲もう。いい酒場に行こう! 文庫化に際して新しいエピソードを加え、太田和彦さんとのお話も収録。巻末の新・名店案内105も必見。</p>	<p>税込¥990</p> 
<p>153</p> 	<p><b>刀：文豪怪談ライバルズ！</b></p> <p>(ちくま文庫) 東雅夫</p> <p>2021/08 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437570</p> <p>NDC:913.68</p> <p>345 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>神代の昔から人々の心を魅了し続ける「刀」と「剣」。美麗でありながら深きこの存在を「文豪」たちが描き出す。古今の枠組みを自在に飛び越えていく名品だけを一冊に集結。業物同士が唸りを上げる異色の怪談傑作選!</p>	<p>税込¥1,100</p> 
<p>154</p> 	<p><b>女将さん酒場</b></p> <p>(ちくま文庫) 山田真由美</p> <p>2021/08 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437587</p> <p>NDC:673.9</p> <p>336 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>日本のオーナーシェフの世界は圧倒的に男社会。飲食の仕事は肉体的にも精神的にもハードで、結婚や出産などライフステージが変わりやすい女性には務まらない。そんな厳しい世界に飛び込み、生き生きと活躍する女性料理人がいる。彼女たちはなぜ料理の道を志したのか、その決断を支えたものは。飲食に生きる人生を選んだ彼女たちの想いや喜びを丁寧に描いた、すべての働く女性たちへのエール。</p>	<p>税込¥990</p> 
<p>155</p> 	<p><b>日本の気配 -- 増補版</b></p> <p>(ちくま文庫) 武田砂鉄</p> <p>2021/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437594</p> <p>NDC:304</p> <p>352 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「個人が物申せば社会の輪郭はボヤけない」。最新の出来事にも、解決されていない事件にも粘り強く憤る。東京五輪に開催後でも反対する。日常に潜むヘイトの萌芽、監視社会、政治家の空虚な言葉、コミュニケーションを「能力」で問うこと、等々への違和感を引きずり、問い続ける。「空気」が支配する国から、「気配」で自爆する国へ。その後の展開を大幅に増補した。</p>	<p>税込¥924</p> 
<p>156</p> 	<p><b>杉浦日向子ベスト・エッセイ</b></p> <p>(ちくま文庫) 杉浦日向子 : 松田哲夫</p> <p>2021/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437624</p> <p>NDC:914.6</p> <p>336 p プンコ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>江戸を題材にした漫画を多く描き、若くして評価を得た著者は漫画の執筆をやめて以降、テレビ等で江戸解説のほか、多くのエッセイを執筆してきた。その内容は、江戸の魅力を描いた作品はもちろんのこと、重い病を得てからは、自らの命を見つめ、生と死に関して考え続けてきた作品も多い。その多くの優れたエッセイの中から、初期単行本未収録作品11篇、江戸や江戸人についての作品、大好きだった旅、食べ物に関する作品、書評等を選び構成した。多彩な活躍の軌跡をたどる最良のコレクション。</p>	<p>税込¥924</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>157</p> 	<p><b>空想亭の苦勞咄：「自伝」のようなもの</b></p> <p>(ちくま文庫) 安野光雅</p> <p>2021/10 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437631</p> <p>NDC:914.6</p> <p>286 p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>大好きな落語の語り口を借り、得意の空想癖とユーモアを駆使して自由奔放につづった、幼少期、戦争、焼け跡、芸術、闘病、死生観...鮮やかに浮かび上がる人生の苦味と甘味。</p>	<p>税込¥924</p> 
<p>158</p> 	<p><b>55歳の教科書：坂の上の坂を生き抜くために</b></p> <p>(ちくま文庫) 藤原和博 (著述家)</p> <p>2021/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437648</p> <p>NDC:159</p> <p>256 p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>いまや50代から70代までの30年間は、「老後」ではない。坂の上にあるのは「雲」ではなく、また「坂」なのだ。この事実を、どれほどの人が理解しているだろうか。「会社だけに所属していいのか?」「パートナーとの関係は?」上り調子に坂を駆け抜けるために、あなたが50代までに何を準備すればいいのが、必要なことを提案する。文庫版特典は、森川亮氏の特別寄稿。「人生の教科書」コレクション第7弾。</p>	<p>税込¥880</p> 
<p>159</p> 	<p><b>本は読めないものだから心配するな</b></p> <p>(ちくま文庫) 菅啓次郎</p> <p>2021/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437662</p> <p>NDC:019.04</p> <p>304 p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>本を読む。忘れる。それは当たり前。内容を覚えてなくても、「読めた」と言えなくても、心配なくいい。よろこびをもって前に進もう。本書は読書をめぐる思索の書であり、古今東西あらゆる本をめぐるブックガイドであり、世界中の土地や文化について学ぼうとする。読めば、心のお天気が変わる。また本を読みたくなる。読む人に勇気を与える「読書の実用論」。</p>	<p>税込¥990</p> 
<p>160</p> 	<p><b>北京の台所、東京の台所：中国の母から学んだ知恵と暮らし</b></p> <p>(ちくま文庫) ウー・ウェン</p> <p>2021/10 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437679</p> <p>NDC:596.22</p> <p>234 p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>料理研究家ウー・ウェンはどのようにして生まれたのか。幼少期の文化大革命の経験、天安門事件により偶然に始まった日本生活、料理研究家としての歩みといった半生から、医食同源に基づいた北京の人々の暮らしの知恵、日中の食文化の違い、数々の料理や台所道具の解説まで。中国と日本の架け橋となるよう奮闘してきた著者唯一のエッセイ集。北京家庭料理レシピつき。</p>	<p>税込¥968</p> 
<p>161</p> 	<p><b>密室殺人ありがとう：ミステリ短篇傑作選</b></p> <p>(ちくま文庫) 田中小実昌：日下三蔵</p> <p>2021/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437686</p> <p>NDC:913.6</p> <p>400 p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>作家、翻訳家、エッセイスト、俳優など多岐にわたる活躍をし、「コミさん」の愛称とコミカルなキャラクターで知られる著者による文庫オリジナルのミステリ短篇集。1970年代から80年代初頭に文芸誌掲載のみで終わってしまった未書籍化の作品を多数発掘、日下三蔵氏の編集と詳細な解説とともに贈る。軽妙洒脱、独特の文体とリズムで描かれる“異色”ミステリを、初めて単著としてまとめた。</p>	<p>税込¥924</p> 
<p>162</p> 	<p><b>須永朝彦小説選</b></p> <p>(ちくま文庫) 須永朝彦：山尾悠子</p> <p>2021/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437693</p> <p>NDC:913.6</p> <p>320 p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>美しき吸血鬼、チェンパロの綺羅綺羅とした響き、冥府よりの誘惑者に恍惚と導かれゆく至福...山尾悠子が選ぶ珠玉の25編。</p>	<p>税込¥946</p> 

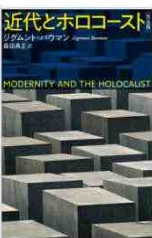
筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>163</p> 	<p><b>鬼：文豪怪談ライバルズ！</b></p> <p>(ちくま文庫) 東雅夫</p> <p>2021/10 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437723</p> <p>NDC:913.68</p> <p>381p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>人の世に光がある限り、「鬼」は必ず現れ続ける。喰らい、奪い、時に魅惑する異形の者たち。幾千年の月夜を駆け抜け、現代に、そして未来へも向かう。恐ろしくも妖艶な至高の短篇がここに集結。新機軸怪談傑作選！</p>	<p>税込¥1,210</p> 
<p>164</p> 	<p><b>「世間」心得帖</b></p> <p>(ちくま文庫) 嵐山光三郎：坂崎重盛</p> <p>2021/10 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480437730</p> <p>NDC:914.6</p> <p>227p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「社会学部はあっても世間学部はなくて、世間そのものが厳然としてあるのだった。世間は学問のレベルをはるかに超越した虚空にあるものと思えた」。若き日に学んだ「世間」、万華鏡のように千変万化する文土的「世間」、夫婦の、老人の...変遷するこの不可思議なものを追いながら、巻に潜む「世間」を描く。博識と豊富な経験とユーモアが横溢し、熟達の筆が明らかにする「世間」の姿とは。</p>	<p>税込¥858</p> 
<p>165</p> 	<p>原題:THE MIDDLE EAST:2000 years of History from the Rise of Christianity to the Present Day (Lewis,Bernard)</p> <p><b>中東全史：イスラーム世界の二千年</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) バーナード・ルイス：白須英子</p> <p>2020/10 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480510013</p> <p>NDC:226</p> <p>754p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>ムハンマド登場以前の古代から、近代化に揺れる20世紀末まで。本書は、豊かで多様性に富み、脈動に満ちた中東全域における2000年の歴史を、時代を追いつつ網羅するものである。同時に、中東諸国家の性格・経済・エリートと庶民・宗教と戒律・文化という章では、中東世界に共通する特徴や価値観を描出。最盛期には人類史上最長の文明を築いたイスラーム世界の本質を理解するためのガイドにもなっている。ロンドン大学やプリンストン大学で長らく教鞭をとった中東学の権威が、大学やテレビ番組での講義をもとに書いた、イスラーム通史</p>	<p>税込¥2,200</p> 
<p>166</p> 	<p>原題:SIGNES (Merleau-Ponty,Maurice)</p> <p><b>精選シーニュ</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) モーリス・メルロ＝ポンティ：廣瀬浩司</p> <p>2020/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480510020</p> <p>NDC:135.5</p> <p>408p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>20世紀フランスを代表する思想家モーリス・メルロ＝ポンティ(1908-61)が死の前年にまとめた論集『シーニュ』。同書には、言語学、絵画論、人類学への言及や、フッサール論、ヘルクソン論、マキアヴェッリ論など、おもに中期から晩年にかけて執筆された多彩な論考が収録されており、その多中心的な思想を一望するうえで欠かせない一冊となっている。本書ではそのなかから、ニザンとサルトルとの関わりが美しく綴られた序文のほか、「間接的言語と沈黙の声」「哲学者とその影」など重要論考6本をセレクトし、新訳。清新な訳文と</p>	<p>税込¥1,540</p> 
<p>167</p> 	<p><b>朝鮮銀行：ある円通貨圏の興亡</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 多田井喜生</p> <p>2020/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480510037</p> <p>NDC:338.421</p> <p>280p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>日本の植民地政策のもとに設立された朝鮮銀行。その営業実態は軍部の大陸侵攻とも深くかかわっており、とりわけ日中戦争期以後の日本の軍費調達に重要な役割を担っていた。国力の乏しかった日本は、日銀券を増発するかわりに、中国連合準備銀行との預け合など「金融上のやり口」を駆使して、植民地通貨を発行した。これにより内地経済の崩壊を防ぎつつ戦争の継続が可能になったのである。朝鮮銀行関係の極秘資料にも精通していた著者が、歴史に隠れたその実態を緻密に描きだす。</p>	<p>税込¥1,320</p> 
<p>168</p> 	<p><b>インドの数学：ゼロの発明</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 林隆夫</p> <p>2020/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480510044</p> <p>NDC:410.225</p> <p>358p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>サンスクリット文化圏の数学は、多様性と創造性に溢れ、数学史においても大きな足跡を残してきた。「ゼロの発明」はとりわけ有名であるが、それにとどまらない。本書は、ヴェーダ祭式の祭場設営に由来する最古層の幾何学に始まり、シャイナ教徒の数学と哲学・世界観との関係、数学と天文学、7世紀以降のアルゴリズム数学と代数の確立など、各時代に開花した数学を概観し、その発展の過程を探る。終章では、三角関数、ホロスコープ占星術、筆算法、和算などのトピックを通して、インドと他文化圏との数学の伝播を考える。</p>	<p>税込¥1,430</p> 













筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>169</p> 	<p><b>十五年戦争小史</b></p> <p>(ちくま学芸文庫)</p> <p>江口圭一</p> <p>2020/10 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480510068</p> <p>NDC:210.7</p> <p>416p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>戦争は、誰によっておこされ、どのように展開したか。本書では、1931年の柳条湖事件の謀略に始まり、45年ポツダム宣言受諾と降伏文書調印によって終わった一連の戦争を「十五年戦争」と呼び、その曲折に満ちた過程と全体像を克明に描く。アジア覇権主義を掲げる日本軍部と対米英協調路線の宮中グループとのせめぎ合い、マスコミの報道によって国内で急速に高まる排外主義、アジア太平洋戦争へと向かう御前会議のありよう…。満州事変、華北分離、日中戦争、アジア太平洋戦争で構成される各部には年表、関係地図を付し、制度や組織</p>	<p>税込¥1,430</p> 
<p>170</p> 	<p><b>バロック音楽：豊かなる生のドラマ</b></p> <p>(ちくま学芸文庫)</p> <p>磯山雅</p> <p>2020/10 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480510075</p> <p>NDC:762.05</p> <p>292p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>17世紀初頭、宮廷文化が芽吹きはじめる中で、バロック音楽は開花した。華やかな祝祭が催される一方で、戦争・疫病・凶作に苛まれる不安な時代。強く激しい感情表現こそがバロック音楽の本質であり、即興的装飾と通奏低音などの技法、新様式、音楽理論がそれを支えた。本書はバハ研究の第一人者が、荘厳な教会音楽や華麗なオペラ誕生の背景、伊弉弘英各国の事情、作曲家たちの試行錯誤などに注目し、その歴史的意義を強調する。バロック音楽の全貌を平明に描きつつ、芸術史・思想史と結びつけなおした必携の入門書。</p>	<p>税込¥1,320</p> 
<p>171</p> 	<p><b>武家文化と同朋衆：生活文化史論</b></p> <p>(ちくま学芸文庫)</p> <p>村井康彦</p> <p>2020/10 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480510082</p> <p>NDC:210.4</p> <p>479p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>室町時代、足利将軍に仕え、将軍家のサロンにおいて、茶や華、香、室内装飾などを担当した同朋衆。目利きとして活躍した彼らは和歌、連歌、能楽など多くの芸能にも通じ、北山文化、応永・永享文化、東山文化の骨格を築いた。今に伝わる「日本らしさ」を生み出したアートディレクター的集団だったといえるだろう。彼らは能阿弥・芸阿弥・相阿弥など阿弥号を名乗っていたことから、仏教の宗派、時衆との関係が指摘されてきたが、時衆ではない同朋衆もいる。いったい彼らはどこから現れ、どのようにして文化の中心に立ったのか。同朋衆の実像</p>	<p>税込¥1,650</p> 
<p>172</p> 	<p><b>内村鑑三交流事典</b></p> <p>(ちくま学芸文庫)</p> <p>鈴木範久</p> <p>2020/10 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480510099</p> <p>NDC:198.992</p> <p>374p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>近代日本を代表するキリスト者・内村鑑三。一見孤高の思想家に見えながら、実は内村は、日本人のなかでは類例がないほどの文化的「山脈」を形成していた。宗教界から、教育界、文学界、社会事業界に至るまで、多くの分野に及び交流のさまを遡ることによって、一個の精神と時代の姿が浮かび上がってくる。本書は、序章で質的漸進を遂げていった内村の生涯を記した後、生前に関係した人物二百数十名を対象に、両者の交流を事典形式で紹介。巻末には詳細な内村の年譜も収録する。文庫オリジナル。</p>	<p>税込¥1,430</p> 
<p>173</p> 	<p>原題:THE RITUAL PROCESS:Structure and Anti-Structure (Turner,Victor W.)</p> <p><b>儀礼の過程</b></p> <p>(ちくま学芸文庫)</p> <p>ヴィクター・W・ターナー：富倉光雄</p> <p>2020/12 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480510136</p> <p>NDC:385</p> <p>368p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>アフリカのナンデンプ族の儀礼にみられる、豊かで複雑な象徴的事物。それは彼らにとって何を意味し、社会のどのような側面を映し出しているか。本書の前半では儀礼に対する現地の人々の解釈を収集し分析することで、その意味と構造を導き出す。後半はファン・ヘネップの通過儀礼論を発展させた「反構造」「リミナリティ」「コムニタス」といった概念をもとに、宮廷の道化師、中世のフランスコ修道会、さらにはヒッピーや、シェイクスピアの文学作品など、歴史・社会・文化の諸現象の理解を試みる。人類学の枠を越えて多分野に影響を与えた</p>	<p>税込¥1,430</p> 
<p>174</p> 	<p>原題:STATES AND MARKETS (Strange,Susan)</p> <p><b>国家と市場：国際政治経済学入門</b></p> <p>(ちくま学芸文庫)</p> <p>スーザン・ストレンジ：西川潤</p> <p>2020/11 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480510143</p> <p>NDC:319</p> <p>549p ぶん 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>従来の社会科学は、国際情勢を、国家の力と利益を中心に理解しようとしてきた。しかし、経済のグローバル化が進み、大国においてさえ国家主権という前提が崩れつつある今、この枠組みは有効だろうか。スーザン・ストレンジは本書で「構造的権力」という概念を提示し、それによって国際関係を読み解く必要性を主張した。「構造的権力」とはAが直接働きかけることなく、Bをそうせざるをえない方向へ進ませる力の枠組みであり、具体的には安全保障、金融、知識(情報、技術)のバランスから成る。見えざる覇権を可視化し、国際政治経済</p>	<p>税込¥1,870</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

- |  |   |   |
|--|---|---|
| <p>175</p>    | <p>原題:LEGIONARY (Matsyszak,Philip)<br/> <b>古代ローマ帝国軍非公式マニュアル</b><br/>                 (ちくま学芸文庫)<br/>                 フィリップ・マティザック：安原和見<br/>                 NDC:232.8<br/>                 2020/11 筑摩書房<br/>                 ISBN:9784480510150<br/>                 301p ぶん 15cm<br/> <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>帝国は諸君を必要としている！さあ皆、ローマ軍に入隊しよう！ そんな呼びかけで始まる本書は、ローマ帝国軍兵士になるためのマニュアルとして執筆された、架空のガイドブックである。時はトラヤヌス帝時代。これを読めば、入隊志願者たる諸兄は、入隊方法、正しい武器の選び方、陣営での戦闘訓練と日常生活、想定される敵の攻略法、「いざ実践！」の心構え、退役後の生活設計等々を、こと細かく情報収集できる。『古代ローマ旅行ガイド』『古代アテネ旅行ガイド』の著者による超実践的なガイド。武具や戦闘の詳細図版など、血沸き肉躍る</p>   | <p>税込¥1,485</p>    |
| <p>176</p>    | <p>原題:TRAVEL AND DISCOVERY IN THE RENAISSANCE 1420-1620 (Penrose,Boies)<br/> <b>大航海時代：旅と発見の二世紀</b><br/>                 (ちくま学芸文庫)<br/>                 ボイス・ベンローズ：荒尾克己<br/>                 NDC:209.5<br/>                 2020/12 筑摩書房<br/>                 ISBN:9784480510198<br/>                 780p ぶん 15cm<br/> <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>世界の全体像は一体どうなっているのか、人類が命懸けの冒険を重ね、初めてその答えに至った大航海時代こそ、間違いなく一つの「世界史の基点」といえる。しかしこの時代の全貌を知るには、膨大な原典群を通読するほかなく、専門家以外には長らく閉ざされた門であった。本書は、20世紀半ばに、「大航海時代の旅と発見に関するできるだけコンパクトで密度の高い俯瞰図を一般読者に与える」ことを意図して書かれ、以降、関連書籍でこれを基本図書としないものはない画期的な作品となった。200年にわたる全期間を全世界について概観するこ</p>                              | <p>税込¥2,200</p>    |
| <p>177</p>   | <p>原題:MODERNITY AND THE HOLOCAUST (Bauman,Zygmunt)<br/> <b>近代とホロコースト：完全版</b><br/>                 (ちくま学芸文庫)<br/>                 ジグムント・バウマン：森田典正<br/>                 NDC:316.88<br/>                 2021/04 筑摩書房<br/>                 ISBN:9784480510211<br/>                 497p ぶん 15cm<br/> <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>近代文明こそ、ホロコーストの必要条件であった。官僚制、合理主義、進歩主義、分類といった近代的諸要素が、暴力を独占し、社会的制約を受けない権力のもとで結びついたときはじめて、ホロコーストは可能となる。アーレント、レイヒナス、ヒルバーグ、ミルグラムなど諸分野の先行研究を傍に、社会学の視点から近代の「裏面」を抉り、ホロコーストが近代論、文明論、ひいては社会理論に突きつけた批判は、今なお十分に検証されていないことを明らかにして思想界に衝撃を与えたバウマンの著書。文庫化に際して訳文を大幅に改訂し、著者に</p>  | <p>税込¥1,760</p>  |
| <p>178</p>  | <p>原題:THE GOLEM AT LARGE:WHAT YOU SHOULD KNOW ABOUT TECHNOLOGY (Collins,Harry;Pinch,Trevor)<br/> <b>解放されたゴーレム：科学技術の不確実性について</b><br/>                 (ちくま学芸文庫)<br/>                 ハリー・コリンズ：トレヴァー・ピンチ<br/>                 NDC:504<br/>                 2020/11 筑摩書房<br/>                 ISBN:9784480510228<br/>                 318p ぶん 15cm<br/> <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>科学技術は強力で役に立つが、不確実性に満ち、危険をもたらす「ゴーレム」である。湾岸戦争でのパトリオット・ミサイルの成否、チャレンジャー号爆発の責任の帰趨、チェルノブイリ原発事故後の牧夫と科学者の対立、エイズ治療における患者コミュニティの役割... 論争を巻き起こした7つの事例をもとに、「確実で価値中立的な知識」という素朴な科学観を退け、さまざまな仮説や解釈が競合し、政治や経済などと相互作用する「作られた科学・技術」の本質を解き明かす。科学が確かな答えを出せず専門家の見解が揺れ動くとき、わたした</p> | <p>税込¥1,430</p>  |
| <p>179</p>  | <p><b>眼の神殿：「美術」受容史ノート</b><br/>                 (ちくま学芸文庫)<br/>                 北澤憲昭<br/>                 NDC:702.16<br/>                 2020/12 筑摩書房<br/>                 ISBN:9784480510235<br/>                 464p ぶん 15cm<br/> <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>明治洋画の開拓者・高橋由一が構想し、遂に未完に終わった「螺旋展覧閣」(1881年)。時代の力動を体現するこの構想は、あるひとつの言葉、「美術」の生成と軌を一にしていた。由一の事業着想の背景、博覧会・美術館・美術学校など諸制度の誕生、フェノロサと国粋主義運動... 入念な史料分析によって、「美術」がいかにして成立し、定着=規範化していったか、その過程が明らかにされる。鮮烈なまでに露わとなるのは、「美術」という言葉が紛れもなく時代の分水嶺を象っていたことだ。制度論の視覚から結晶化していく概念史。それは</p>  | <p>税込¥1,650</p>  |
| <p>180</p>  | <p><b>城と隠物の戦国誌</b><br/>                 (ちくま学芸文庫)<br/>                 藤木久志<br/>                 NDC:210.47<br/>                 2021/01 筑摩書房<br/>                 ISBN:9784480510242<br/>                 281p ぶん 15cm<br/> <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>村に戦争がくる！一世紀以上も戦乱が続いた戦国時代、村びとたちは命と財産を守るため、どのような対策をとっていたのか。鍵になるのは城や寺社等である。城郭内等に「小屋」を掛けて地域住民の戦時避難所としたり、家財や食料を隠物として穴倉に隠したり、預物として寺社や他所に預ける仕組みが出来あがっていた。豊臣秀吉による小田原城攻めや「九州征伐」にあっては、城内に大勢の領民が避難していたという記録が残されている。中世村びとの暮らしに迫った著者が、遺跡を歩きつつ、戦国の城を舞台に人々の危機管理の知恵を追う。</p>   | <p>税込¥1,210</p>  |

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>181</p> 	<p><b>インド文化入門</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 辛島昇</p> <p>2020/12 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480510259</p> <p>NDC:225</p> <p>288p プラジ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>遠くインダス文明にまでさかのぼり、異文化が交錯する要衝の地として繁栄してきたインド。そのため現在も多様な民族、言語、宗教が混在する。また古来よりカースト制が敷かれてきたことから、社会階層も多様に存在している。しかし、どの地方、どの民族のカレーを食べてもカレーとしてのカテゴリーに収まっているように、インド文化圏は多様な中にも統一性が保たれている。それはいったいなぜなのだろうか？映画、新聞広告、絵画、物語、遺跡、陶磁器、食べものといった身近なテーマを切り口に、インドの文化と歴史を丸ごと理解する、世界</p>	<p>税込¥1,210</p> 
<p>182</p> 	<p><b>常微分方程式</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 竹之内 脩</p> <p>2020/12 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480510266</p> <p>NDC:413.62</p> <p>416p プラジ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>微分方程式は、自然現象、社会科学的現象、工学的現象等の記述・解析に広範に用いられている。本書は、微分積分学を修得した理工系学生に向けて叙述されたもので、定評あるテキストとして名高い。この本の特徴として次の五つが挙げられる。1、多くの例、それに伴って発生する問題を、多岐にわたって記述。2、行列演算を積極的に用い、行列の指数関数についても活用できるように配慮。3、解の定性的研究について、明確な方向性を提示。4、古典的な複素領域における微分方程式にも言及。5、計算困難な関数形を、多数の図版で視覚化。演</p>	<p>税込¥1,540</p> 
<p>183</p> 	<p><b>生の仏教 死の仏教</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 京極逸蔵</p> <p>2021/01 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480510273</p> <p>NDC:188.74</p> <p>310p プラジ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>仏教は死後の救済のためのものだと思われたり、思想として知的に享受するものだと思われていることが多い。しかしそれは誤りだ。仏教はこの世を生きるための教えであり、その教えは念仏などの「行」を行うことで初めて意味を持つ。異国アメリカに仏教を広めた京極逸蔵は、仏教国でありながら仏教が根付かない日本に向け、彼の地から一つの提案をした。それが本書で説かれる「六波羅蜜」の実践だ。六波羅蜜は仏教徒の倫理規範というだけでなく、それを実践することが宗教的な目覚めへの近道ともなるからだ。専門用語に丁寧な説明をルビで付し</p>	<p>税込¥1,320</p> 
<p>184</p> 	<p>原題:Feng-shui:The Rudiments of Natural Science in China (Eitel,Ernest J.)</p> <p><b>風水：中国哲学のランドスケープ</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) エルネスト・アイテル：中野美代子</p> <p>2021/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480510280</p> <p>NDC:148.5</p> <p>224p プラジ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>中国独特の自然学として発展した“風水”。著者は19世紀の西洋人としてこの奇妙な体系に出会った。風水は、「理」=自然の一般秩序、「数」=自然の数的比率、「気」=活力に満ちた微妙なエネルギー、「形」=自然の外形という四つの概念から成り立ち、人間の運命を左右する。風水の前提となる陰陽五行説の概要から、専用道具・羅盤の使い方、さらには中国人の居住地選びにどのような影響を及ぼしているかまでを説く。近代的風水研究の嚆矢となった一冊。</p>	<p>税込¥1,100</p> 
<p>185</p> 	<p><b>戦国乱世を生きる力</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 神田千里</p> <p>2021/06 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480510303</p> <p>NDC:210.47</p> <p>380p プラジ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>応仁の乱以降の中世日本は、まさに戦乱の時代であった。民衆は、殺害、略奪、放火の危険にさらされつつ、無法地帯を生き抜いていかねばならなかった。戦国大名も自身の野心のためだけに行動してきたわけではなく、「国を静謐せしめる」(平和の秩序を回復する)ことにその存在意義が求められた。「土一揆」から「宗教」「天下人の在り方」まで、この時代の現象はすべて平和を願い、なんとか乱世を生き延びようとした民衆の姿と切り離して考えることはできない。「乱世の真の主役としての民衆」を焦点とした戦国時代史。</p>	<p>税込¥1,430</p> 
<p>186</p> 	<p><b>重力と力学的世界：古典としての古典力学 上</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 山本義隆</p> <p>2021/02 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480510334</p> <p>NDC:423</p> <p>400p プラジ 15cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>私たちが自明としている力学的世界観の成立には、古典力学と古典重力論にもとづく天体力学、とりわけ“重力”概念の確立が大きな影響を与えている。本書は、“重力”理論完成までの思想的格闘の足跡を原典に則して丹念に辿りつつ、誤りや迷いといった紆余曲折までも含めて詳らかにする。先人の思考の核心に「同時代的」に肉薄する壮大でドラマチックな力学史。上巻は、ケプラーにはじまり、ガリレイ、デカルトをへてニュートンにいたる力学方程式確立の歴史、オイラーの重力理論までを収録。</p>	<p>税込¥1,430</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>187</p> 	<p><b>重力と力学的世界：古典としての古典力学 下</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 山本義隆</p> <p>NDC:423</p> <p>2021/03 筑摩書房 336p B判 15cm</p> <p>ISBN:9784480510341 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>ニュートンの力学は、ダランベールやラグランジュ、ラプラスによって数学的に改訂され洗練されることで今日言う「ニュートン力学」へと変貌を遂げた。また地球の運動をほぼ完全に解明し、太陽系の安定性を理論的に証明することによって万有引力論への懐疑を一掃した。それは同時にニュートン自然哲学の根底にあった神学原理を物理学から追放することでもあり、ここに力学的世界像は確立される。しかし力学的自然観は、場の理論の登場で19世紀にその限界を明らかにする。そのことは、光や電磁気現象の力学的解明を目指したケルヴィン卿の</p>	<p>税込¥1,320</p> 
<p>188</p> 	<p><b>ナチュラリストの系譜：近代生物学の成立史</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 木村陽二郎</p> <p>NDC:460.2</p> <p>2021/02 筑摩書房 286p B判 15cm</p> <p>ISBN:9784480510358 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>どのようにして動物や植物は観察されるようになり、そこから動物学と植物学が生まれ、生物学の基礎となっていたのか、葉学の一環である本草学という出発点、試行錯誤を重ねて変遷していく生物分類体系、立植物園をめぐる政治的駆け引き、啓蒙主義と自然誌の類同性など、本書はルネサンスに始まり、フランス植物学の父ツルヌフォル、ヒュウフェン、リンネ、ルソー、ラマルクを経て、ド・カンドルにいたるまで、偉大なナチュラリストたちの情熱に満ちた生涯と業績を丁寧に追う。植物学を中心とした西洋自然誌の流れを描いた名著。</p>	<p>税込¥1,320</p> 
<p>189</p> 	<p>原題:L'INVENTION DU QUOTIDIEN, L'Arts de faire (Certeau, Michel de)</p> <p><b>日常実践のポイエティック</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) ミシェル・ド・セルトー：山田登世子</p> <p>NDC:135.5</p> <p>2021/03 筑摩書房 560p B判 15cm</p> <p>ISBN:9784480510365 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>読むこと、歩行、言い回し、職場での隠れ作業...。それらは押しつけられた秩序を相手取って狡智をめぐらし、従いながらも「なんとかやっていく」無名の者の技法である。好機を捉え、プリコラーージュする、弱者の戦術なのだ。科学的・合理的な近代の知の領域から追放され、見落とされた日常実践とはどんなものか。フーコー、ブルデューをはじめ人文社会諸科学を横断しつつ、狂人、潜在意識、迷信といった「他なるもの」として一瞬姿を現すその痕跡を、科学的に解釈するのは別のやり方で示そうとする。近代以降の知のあり方を見直す、そ</p>	<p>税込¥1,870</p> 
<p>190</p> 	<p><b>考古学はどんな学問か</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 鈴木公雄</p> <p>NDC:210.2</p> <p>2021/02 筑摩書房 292p B判 15cm</p> <p>ISBN:9784480510372 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>考古学は物的証拠を手掛かりに、過去の人々の行為を再現する学問だ。したがって石器時代や縄文・弥生などの古い時代だけでなく、近現代までもが研究対象となる。もちろん物的証拠も幅広く、銃弾といったものさえ証拠になる。犯罪捜査さながらにスリリングな学問であり、時には一国の歴史を書き換えることすらある。アメリカで長く国民的英雄とあがめられていた将軍の遺跡が、実は先住民への暴力の跡だったことが分かった「リトルビッグホーン古戦場」などは代表的事例だ。歴史の生き証人を足元から掘り起こす考古学。その魅力を余すことな</p>	<p>税込¥1,320</p> 
<p>191</p> 	<p><b>三木清：近代日本思想選</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 三木清：森一郎(哲学)</p> <p>NDC:121.6</p> <p>2021/03 筑摩書房 624p B判 15cm</p> <p>ISBN:9784480510389 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>活動的に哲学するとはいかなることか。戦前日本を代表する知性として思想界を牽引した三木清。非業の死によりその哲学は未完に終わったが、それゆえに今日なお可能性を示唆してやまない。ハイデッガーからの決定的影響、マルクス主義の哲学的掘り下げ、そこから前業に浮かび上がる歴史という問題。そして同時代の政治への関与。三木の思考には時代との格闘の跡が生き生きと刻印されている。本書は、主著『歴史哲学』などを中心に、1920年代の前期から30年代以降の後期まで、三木哲学の新たな読解に資するテキストを精選して構成。未</p>	<p>税込¥1,870</p> 
<p>192</p> 	<p><b>三八式歩兵銃：日本陸軍の七十五年</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 加登川幸太郎</p> <p>NDC:396.21</p> <p>2021/03 筑摩書房 752p B判 15cm</p> <p>ISBN:9784480510396 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>明治の創設から昭和の解体まで、本書は日本陸軍75年の歴史を描いた全史である。三八式歩兵銃は、かつての日本の若人なら誰もが一度は手にした兵器であり、軍の象徴であった。旅順の塹壕を白樺隊が肉弾突撃したとき、あるいは特攻隊将兵が爆薬もろとも敵艦に突入していったとき、日本陸軍は何を望んだ。日清・日露・第一次世界大戦・日中・太平洋戦争における日本陸軍の行動を密度高く記述する。元・陸軍中佐の著者は「無数の将兵の苦闘を偲びながら、これに報いえなかった陸軍のふがいなき因果を明らかにしようとした」と述懐する。兵</p>	<p>税込¥2,090</p> 



筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>193</p> 	<p>原題: LIBERALISM: A Very Short Introduction (Freedman, Michael)  <b>リベラリズムとは何か</b>                      (ちくま学芸文庫)                      マイケル・フリーデン : 山岡龍一                      NDC: 309.1                      2021/03 筑摩書房 272 p ぶん 15cm                      ISBN: 9784480510402  <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>政治理論の本流に位置し、現代において最も重視される思想であるリベラリズム。だが、その中身はどこまで曖昧で理解しづらく、「リベラリズムとは何か」という問い自体が一つの争点であり続けてきた。ときに互いに矛盾する内容すらはらむ、この思想の核心はいったいどこにあるのか。本書では、「リベラリズム」という用語自体の歴史の変遷や思想的広がりを五つの層という視点から捉えなおし、そこに七つの中核的概念を見いだしていく。リベラリズム研究の泰斗が、その起源・展開・内実をていねいに解きほぐし、読者を深い理解へと導く画期的</p>	<p>税込¥1,210</p> 
<p>194</p> 	<p>原題: L'ENFANCE DU CHRISTIANISME (Trocmé, Etienne)  <b>キリスト教の幼年期</b>                      (ちくま学芸文庫)                      エチエンヌ・トロクメ : 加藤隆                      NDC: 192                      2021/08 筑摩書房 352 p ぶん 15cm                      ISBN: 9784480510440  <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>キリスト教は、イエスやパウロによって現在の形が定められたわけではない。この宗教の最初の一世紀には、世界宗教となった後世から振り返った際に想像されがちな一枚岩で安定した教会組織も存在していなかった。さらに言えば、イエスの活動とその死の後でも多くの点でユダヤ教の枠内にとどまっていた。しかし、いくつかの決定的な転回があり、キリスト教は自分たちの独自性を発見していくこととなった。どのような出来事、どのような思索が、キリスト教を新しい自律した宗教へと歩ませることになったのか。厳密な資料読解を通して描く。</p>	<p>税込¥1,430</p> 
<p>195</p> 	<p>原題: Johann Gottlieb Fichte: Eine Einführung (Jacobs, Wilhelm G.)  <b>フィヒテ入門講義</b>                      (ちくま学芸文庫)                      ヴィルヘルム・G・ヤコブス : 鈴木崇夫                      NDC: 134.3                      2021/04 筑摩書房 267 p ぶん 15cm                      ISBN: 9784480510457  <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>ドイツ観念論を代表する一人、ヨハン・ゴットリーブ・フィヒテ。意識の根本構造を追究した哲学は、誤解や先入見に見舞われ、いまだその真価や現代性が知られていない。本書は、ドイツ観念論研究の大家が、フィヒテ生誕250年記念、および没後200年記念に行なった市民向け講義を基にしたもの。哲学者の主要著作に寄り添いながら核心部分へ迫っていく。著者は長年の研究と教育を通じて、何がフィヒテ理解の鎖の石となるかを熟知しており、その知見と洞察が叙述に生かされているのも大きな特徴である。「知の理論」「知識学」を解き明</p>	<p>税込¥1,320</p> 
<p>196</p> 	<p><b>福沢諭吉：近代日本思想選</b>                      (ちくま学芸文庫)                      福沢諭吉 : 宇野重規                      NDC: 289.1                      2021/04 筑摩書房 592 p ぶん 15cm                      ISBN: 9784480510464  <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>近代日本を代表する思想家であり、その体現者でもあった福沢諭吉。本書では、彼の思想の広がりとその今日的意義を明らかにすべく、『学問のすすめ』『文明論の概略』については最重要箇所からの抄録とし、それ以外の多種多様な著作群から幅広く論考を精選。『通俗民権論』『国会論』などの政治論から「尚商立国論」のような商業論、「癡我憐の説」「明治十年丁丑公論」といった時事評論、さらには天皇論や婦人論までをバランスよく配置した。政治思想史・政治哲学を専門としてきた編者ならではの観点から編みあげられた清新な福沢像。文庫</p>	<p>税込¥1,760</p> 
<p>197</p> 	<p><b>宋詩選</b>                      (ちくま学芸文庫)                      小川環樹                      NDC: 921.5                      2021/05 筑摩書房 408 p ぶん 15cm                      ISBN: 9784480510471  <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>唐詩の時代より、「詩」という形式が広く親しまれるようになり、作者も作品もはるかに数多くなったと言われる宋代。本書では、この安定した中国的国家体制が敷かれていく時代を、北宋と南宋に大別し、おのおの約30人ずつの数作を選ぶ。自分が好きな詩に限って選んだと述べてつ、王安石、黃庭堅、蘇軾、陸游ら、偉大な詩人たちの名作を解釈し訳出する。巻末につけられた編者による「解説」は、親しみやすい調子で書かれた充実の宋詩論かつ漢詩概説にもなっている。</p>	<p>税込¥1,430</p> 
<p>198</p> 	<p><b>古事談 上</b>                      (ちくま学芸文庫)                      源頭兼 : 伊東玉美                      NDC: 913.47                      2021/05 筑摩書房 519 p ぶん 15cm                      ISBN: 9784480510518  <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>鎌倉時代前期、源頭兼によって編まれた全460余話に及ぶ説話集の傑作。聖徳太子に弘法大師、藤原兼家に藤原道長、小野小町に清少納言、信西入道に西行法師、鳥羽僧正寛徳から仏師定朝など、古代以来の歴史、文学、文化上の著名人を主とし、その人たちにまつわる隠れた逸話の一大集成。一般の古典文学や日本正史では取り上げられることのない話が数多く収録されている。本書は、ひらがな交じりに書き下した読みやすい本文に、的確な人物注と明快な現代語訳、評を初めて全話に施す。説話集というスタイルが、日本文学史上なげ一世を風靡</p>	<p>税込¥1,650</p> 




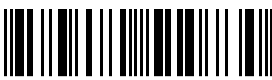








筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>199</p> 	<p><b>古事談 下</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 源頭兼：伊東玉美</p> <p>NDC:913.47</p> <p>2021/05 筑摩書房 494 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480510525 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>代々の知識人たちが、歴史の副読本として活用してきた知る人ぞ知る隠れた名著。『古事談』は、人を中心とする第一王道后宮・第二臣節・第三僧行・第四勇士と、事物を軸にする第五神社仏寺・第六亭宅諸道から成り、他書に記載を見ない有名な話も数多く、さまざまな説話集の出典にもなっている。下巻は、第三僧行の後半から収める。勇士源満仲の邸に押し入った盗賊の正体、焼き討ちされた園城寺の僧が聞く守護神の意外な言葉など、各話と編纂の妙を、当時の価値観を復元しながら読み解く。本書には学術的利用の便をはかった主要参考文献、</p>	<p>税込¥1,650</p> 
<p>200</p> 	<p><b>修験道入門</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 五来重</p> <p>NDC:188.59</p> <p>2021/06 筑摩書房 472 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480510556 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>国土の八割が山という国柄から、日本には世界にも稀な山岳宗教がおこった。仏教や民間信仰と結合して修験道という特殊な信仰ができあがり、これが日本人の宗教の原点を形成したのである。霊山の開祖たち、山伏の厳しい修行、兜巾・蓑懸・金剛杖・法螺貝など特別な服装や持物。それらの起源と意味を追いつつ、修験道の歴史とそこにあらわれた精神を、宗教民俗学の泰斗が平明に説く。修験道があらゆる庶民信仰を包含しつつ、日本特有の宗教文化を作り上げてきたさまが見えてくる名著。</p>	<p>税込¥1,650</p> 
<p>201</p> 	<p><b>戦争体験：一九七〇年への遺書</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 安田武</p> <p>NDC:916</p> <p>2021/06 筑摩書房 297 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480510563 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>戦争体験の伝承ということ、これについては、ほとんど絶望的である。少年期を日中戦争の戦時下に過ごし、大学在学中に徴兵され、ソ連軍の捕虜となり復員。異常で圧倒的であり、自らの現在を決定づけた戦争体験とその伝承の難しさについて、戦中派である著者が切々と書き綴る。戦後多くの知識人が、体験を思想化・体系化して後世に伝え、反戦・平和を訴える義務と責任を説くなかで、著者はその「語りがたさ」に固執しつつも、屈辱や憤り、自責、虚しさ、喪失、死への誘惑…。時に感傷的で非生産的と批判されながらも、断片的で矛盾に満ち</p>	<p>税込¥1,320</p> 
<p>202</p> 	<p><b>山岡鉄舟先生正伝：おれの師匠</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 小倉鉄樹：石津ニ</p> <p>NDC:289.1</p> <p>2021/06 筑摩書房 498 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480510570 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>幕末の偉人の一人、山岡鉄舟。剣、禅、書を究め、日本のため、市井の人々のために、全身全霊をなげうった。本書はその鉄舟の内弟子として寝食をともにした小倉鉄樹が、鉄舟から直に聞いたこと、自分自身が同時代人として見聞きしたことを、弟子たちに書き取らせたもの。鉄舟の豪放磊落な人となりや幕末の空気が生き生きと描かれ、歴史的舞臺も次々と明かされる。中でも「江戸無血開城」のくだりは本人たちのみぞ知る会話が並び、まるで歴史小説のよう。江戸を戦火から守るための、命を懸けた西郷隆盛との交渉は息をのむ。幕末を生</p>	<p>税込¥1,650</p> 
<p>203</p> 	<p>原題:Tell My Horse:Voodoo and Life in Haiti and Jamaica (Hurston,Zora Neale)</p> <p><b>ザドゥーの神々：ジャマイカ、ハイチ紀行</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) ゾラ・ニール・ハーストン：常田景子</p> <p>NDC:935</p> <p>2021/07 筑摩書房 464 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480510587 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>私たちの世界には生者と死者がいる。だが、ハイチには生者と死者がいて、それからゾンビがいるのだ。20世紀前半の人類学者ハーストンは、米南南部の黒人民話の調査を経て、カリブ海域へフィールドワークの旅に出る。その成果たる本書は、習俗や秘儀等の民族誌的記述のみならず、ハイチの歴史や政治批評、調査体験談が縦横に挿入され、最後は音楽とダンスの胎原についての短い神話で締めくくられる。ハーレム・ルネサンスの黒人作家としても知られる彼女の手法は、学術研究と口承文学のあわいを往還し、「遠い異文化の客観的記述」とし</p>	<p>税込¥1,760</p> 
<p>204</p> 	<p><b>システム分析入門</b></p> <p>(ちくま学芸文庫) 齊藤芳正</p> <p>NDC:509.6</p> <p>2021/06 筑摩書房 191 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480510617 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「マンションが一戸建てか」「戦略基地は、海外にどのように配置し、構成すべきか」。システム分析とは、このような何をなすべきか(What to do)といった意思決定の場での有用な技法である。これに対してHow to do、いかに上手くなるべきかの技法がオペレーション・リサーチで、両者は車の両輪の関係にあり、しばしば戦略と戦術に例えられる。本書は、第1章で有用性、第2章では費用効果分析によるシステム分析の手順、第3章はその歴史が語られ、例題、挿圖を用いてシステム分析の考え方が平易に解説される。政策決</p>	<p>税込¥1,210</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>205</p> 	<p>原題:THE HABSBURG MONARCHY 1809-1918:A HISTORY OF THE AUSTRIAN EMPIRE AND AUSTRIA-HUNGARY (Taylor,Alan John Percivale)</p> <p><b>ハプスブルク帝国 1809 - 1918 : オーストリア帝国とオーストリア=ハンガリーの歴史</b> (ちくま学芸文庫)</p> <p>A . J . P . テイラー : 倉田稔</p> <p>NDC:234.6</p> <p>2021/08 筑摩書房 548 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480510624 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>中欧・東欧の広大なエリアに跨り、近代ヨーロッパ最大の覇権を握っていたハプスブルク帝国。本書は神聖ローマ帝国時代の終わりから、オーストリア=ハンガリー二重帝国への転換を経て、1918年に帝国解体するまでを跡付ける。そこで浮き上がるのは、超民族的国家が抱えることになった民族原理の軋轢、近隣諸国との外交問題、それが閥値を超えたところで生じたカストロフだ。イギリス屈指の歴史家が、歴史を動かす要因として個々人の動静よりも外交史的力学を重視しつつ、世界大戦への導入までを生き生きとした筆致で迫る。</p>	<p>税込¥1,760</p> 
<p>206</p> 	<p>原題:Modernity and Self-Identity:Self and Society in the Late Modern Age (Giddens,Anthony)</p> <p><b>モダニティと自己アイデンティティ : 後期近代における自己と社会</b> (ちくま学芸文庫)</p> <p>アンソニー・ギデンズ : 秋吉美都</p> <p>NDC:361.4</p> <p>2021/08 筑摩書房 496 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480510631 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>後期近代において、個人は特定の場所や宗教、慣習から切り離され、グローバルな社会と相互に繋がるようになった。常に新たな情報に開かれ、継続的な変化が前提となる時代に、自己アイデンティティは外的準拠点を失い、その物語を自ら構成しつづけることでのみ保たれる「再帰的プロジェクト」となる。それは、不確実で多様な選択肢の中から、いかに生きるべきか、を選び続ける重荷を自己に課すものでもあった。精神分析、心理学、社会学など多分野の研究をもとに独自の理論的枠組みを作り上げ、近代的自己の持つ可能性と苦難を読み解いた現</p>	<p>税込¥1,650</p> 
<p>207</p> 	<p>原題:The Ideas That Made America:A Brief History (Ratner-Rosenhagen,Jennifer)</p> <p><b>アメリカを作った思想 : 五〇〇年の歴史</b> (ちくま学芸文庫)</p> <p>ジェニファー・ラトナー=ローゼンハーゲン : 入江哲朗</p> <p>NDC:133.9</p> <p>2021/07 筑摩書房 384 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480510648 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>発端において、アメリカは、ヨーロッパの探検者たちが「新世界」に投影した一群の諸観念であった。それらはいかにして合衆国を築き、どのような運動を生み出していったか。本書は、アメリカ人たちが紡いできた思想的生の物語を、国や時間や文化の境界を越える横断の歴史として描く。思想史とは、時代の問題と向きあった人びとの行為選択から彼らの知的背景を読みとること、そして彼らが生きた経験へ近づくことである。ヒューリタニズムからポストモダニズムまで、あるいはトマス・ジェファソンからリチャード・ローティまで、アメリカ史</p>	<p>税込¥1,430</p> 
<p>208</p> 	<p>原題:Public Religions in the Modern World (Casanova,Jos'e)</p> <p><b>近代世界の公共宗教</b> (ちくま学芸文庫)</p> <p>ホセ・カサノヴァ : 津城寛文</p> <p>NDC:161.3</p> <p>2021/09 筑摩書房 608 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480510662 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>1980年代以降、宗教は公的領域に再登場してきた。この啓蒙主義や近代化論の想定に反する事態は、いったい何を意味するのか。著者は、世俗化論を再検討し、方法論を明確に打ち出しながら、スペイン、ポーランド、ブラジル、アメリカ合衆国の4か国において宗教が「脱私事化」していくプロセスを分析する。本書全体を通じて明らかになるのは、宗教の復興がグローバルな趨勢の中で行われているということだ。現代屈指の宗教社会学者が、近代化=世俗化というテーゼに根本から修正を迫った古典的名著。文庫化に際しては、原著刊行後の展望</p>	<p>税込¥1,870</p> 
<p>209</p> 	<p><b>インド洋海域世界の歴史 : 人の移動と交流のクロス・ロード</b> (ちくま学芸文庫)</p> <p>家島彦一</p> <p>NDC:226</p> <p>2021/09 筑摩書房 672 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480510693 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>グローバル経済の起源は大航海時代にあると言われる。しかしそれよりはるか前、インド洋海域世界には二千年以上もの間、様々な民族、人種、宗教が交り合う自由で自立した大経済圏が存在していた。季節風を利用した航海技術の確立により長距離交易が盛んに行われ、アフリカから地中海世界、西アジア、インド、東南アジア、中国にわたる広大な地域が一つに結ばれていたのだ。しかしレコンキスタ終結後、この経済圏はヨーロッパ人に破壊され、奪われていく。イスラームの影響下で栄えた大経済圏・文化圏の全体像を、膨大な史料とフィールド</p>	<p>税込¥1,980</p> 
<p>210</p> 	<p><b>現代美術逸脱史 : 増補 1945 - 1985</b> (ちくま学芸文庫)</p> <p>千葉成夫</p> <p>NDC:702.16</p> <p>2021/09 筑摩書房 496 p ぶん 15cm</p> <p>ISBN:9784480510709 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「美術」とは何かが問われ直される時代において、日本の美術家たちは、どのような思想のもとにいかなる創作活動を展開してきたか。具体、ハイレッド・センター、もの派、美共闘、ポストもの派…。戦後40年の日本美術の流れを跡付け、欧米の模倣でもなく、伝統への回帰でもないその逸脱の軌跡の中に、日本固有の「美術」の萌芽を読み取っていく。作品や展覧会をもとに論じるだけでなく、針生一郎、宮川淳らの批評や、李禹煥ら作家の思想も追った。「類」としての美術」を提唱した鮮烈な批評にして画期的通史、およそ100頁の増補を加えた決</p>	<p>税込¥1,650</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>211</p> 	<p><b>日本資本主義の群像：人物財界史</b></p> <p>(ちくま学芸文庫)                  堀井義雄</p> <p>NDC:332.8</p> <p>2021/09 筑摩書房 272 p B7判 15cm</p> <p>ISBN:9784480510723 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>近代日本経済の礎はいかにして築かれ、発展していったか。渋沢栄一、岩崎弥之助、住友吉左衛門、田塚磨、池田成彬、鮎川義介など、明治維新から太平洋戦争終結までに活躍した、日本実業界の巨頭10人の活動を述べて描く。巻頭の1章「概観 日本財界小史」は、卓抜な近代日本経済史ともなっている。財閥研究で知られる経営史研究者が、広範な読者に向けてものしたリーダブルな一冊。登場する財界人の自伝・伝記一覧など、関連資料を付す。</p>	<p>税込¥1,210</p> 
<p>212</p> 	<p><b>現代文解釈の基礎：着眼と考え方 -- 新訂版</b></p> <p>(ちくま学芸文庫)                  遠藤嘉基：渡辺実(日本語学)</p> <p>NDC:817.5</p> <p>2021/10 筑摩書房 476 p B7判 15cm</p> <p>ISBN:9784480510730 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>半世紀近くにわたって読み継がれた、至高の現代文教科書がここによりがえる！「文章を読む」とは、書かれた言葉の何を拾い上げ、それらをどう関係づけることなのか。数々の小説や評論を題材に、重要な箇所をどのように見分けるかを、実演を繰り返しながら徹底的に解説する。本書は、「文学的な文章」「論理的な文章」の2パートに分かれ、高校教科書の定番教材も多数収録。読者は、目の前にある文章について、内容や表現だけでなく、その表現を選んだ書き手の感性や想像力までも、つかめるようになるだろう。</p>	<p>税込¥1,650</p> 
<p>213</p> 	<p><b>日本の思考の原型：民俗学の視角</b></p> <p>(ちくま学芸文庫)                  高取正男</p> <p>NDC:380.1</p> <p>2021/07 筑摩書房 224 p B7判 15cm</p> <p>ISBN:9784480510747 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>ふとした時に表れる日本人独特の感覚。自分の湯呑みを他人に使われてしまった時の気まずさなどはその一例といえるだろう。高取によればこの感覚は、自己の範囲を所有するモノや所属する集団にまで広げて認識していた近代以前の名残だという。また祖先としての神、他所から来る神という二種の神観念があるのも、定住だけでなく漂泊もまた少なくなかった前近代の暮らし方由来するという。本書はそうしたわれわれの感覚や習慣を形作ってきたさまざまな事例を挙げ、近代的な自我と無意識下の前近代が交錯する日本人の精神構造を明らかにする。</p>	<p>税込¥1,100</p> 
<p>214</p> 	<p>原題:THE INVENTION OF THE RESTAURANT:Paris and Modern Gastronomic Culture,With a New Preface (Spang,Rebecca L.)</p> <p><b>レストランの誕生：パリと現代グルメ文化</b></p> <p>(ちくま学芸文庫)                  レベッカ・L・スパング：小林正巳</p> <p>NDC:383.8</p> <p>2021/10 筑摩書房 584 p B7判 15cm</p> <p>ISBN:9784480510761 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>フランス革命期に突如パリの街に出現した「レストラン」。はじめそれは体力を回復させる一杯のブイヨンを意味し、後に今日同様、美食を愉しむ場を示す言葉となった。瞬く間に人気のスポットとなったが、フランスには食堂や宿屋など、外食のできる店が以前から存在していた。なぜレストランだけがもてはやされたのか？その発端はレストランの「発明者」シャントワソーによる広告戦略にあった。膨大な史料からレストラン誕生の瞬間を活写し、レストランが社会に受け入れられ、やがて社会を変える存在になるまでを詳細に描く。ヨーロッパ食</p>	<p>税込¥2,090</p> 
<p>215</p> 	<p>原題:La grande 'etrang' ere: ` A propos de litt' erature (Foucault,Michel)</p> <p><b>フーコー文学講義：大いなる異邦のもの</b></p> <p>(ちくま学芸文庫)                  ミシェル・フーコー：柵瀬宏平</p> <p>NDC:135.5</p> <p>2021/10 筑摩書房 350 p B7判 15cm</p> <p>ISBN:9784480510792 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>フーコーが文学を通してとらわれていた問題。それは、われわれをこのようにあらしめている歴史の規定から身を引き離し、いかにして他なる空間を創るかにあった。「主体と真理」という生涯の問題系に密接な関わりを持つものとして彼の文学論は展開された。狂気と言語、文学の考古学、欲望と真理をテーマに、シェイクスピア、セルバンテス、テイトロ、アルトー、レリスらが呼び出され、サドをめぐる議論はひとつの頂点に達する。1960-70年代に行われた諸講演の記録を詳細な訳注と解説を付して邦訳。</p>	<p>税込¥1,430</p> 
<p>216</p> 	<p><b>空海名言法話全集空海散歩 第1巻：苦のすがた</b></p> <p>白象の会：近藤堯寛</p> <p>NDC:188.54</p> <p>2017/12 筑摩書房 473 p B6 19cm</p> <p>ISBN:9784480713117 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>弘法大師御誕生千二百五十年に向けて、空海の名言2180句を選び、解説と法話を付けた記念全集。ついに刊行開始！真言宗の叡智がここに結実する。</p>	<p>税込¥2,530</p> 




筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>217</p> 	<p><b>空海名言法話全集空海散歩 第2巻：世のながれ</b></p> <p>白象の会：近藤堯寛 NDC:188.54                  2018/07 筑摩書房 482 p B6 19cm                  ISBN:9784480713124 <a href="#">詳細情報へのリンク</a>                  弘法大師御誕生千二百五十年に向けて空海の名言2180句に、解説と法話を付けた記念全集第2巻。</p>	<p>税込¥2,530</p> 
<p>218</p> 	<p><b>空海名言法話全集空海散歩 第3巻：たすけあい</b></p> <p>白象の会：近藤堯寛 NDC:188.54                  2019/02 筑摩書房 416 p B6 19cm                  ISBN:9784480713131 <a href="#">詳細情報へのリンク</a>                  弘法大師御誕生千二百五十年に向けて空海の名言2180句に、解説と法話を付けた記念全集第3巻。</p>	<p>税込¥2,420</p> 
<p>219</p> 	<p><b>空海名言法話全集空海散歩 第4巻：こころをつくる</b></p> <p>白象の会：近藤堯寛 NDC:188.54                  2019/09 筑摩書房 474 p 46 19cm                  ISBN:9784480713148 <a href="#">詳細情報へのリンク</a>                  弘法大師御誕生千二百五十年に向けて空海の名言2180句に、解説と法話を付けた記念全集第4巻。本当に大切なのは、みずから手を差し伸べること。</p>	<p>税込¥2,530</p> 
<p>220</p> 	<p><b>空海名言法話全集空海散歩 第5巻：法を伝える</b></p> <p>白象の会：近藤堯寛 NDC:188.54                  2020/04 筑摩書房 489 p 46 19cm                  ISBN:9784480713155 <a href="#">詳細情報へのリンク</a>                  人は、出会いによって道を見出し、道は、導きによって開かれる。弘法大師御誕生千二百五十年に向けて空海の名言2180句に、解説と法話を付けた記念全集第5巻。</p>	<p>税込¥2,640</p> 
<p>221</p> 	<p><b>空海名言法話全集空海散歩 第6巻：さとのり記述</b></p> <p>白象の会：近藤堯寛 NDC:188.54                  2020/11 筑摩書房 477 p 46 19cm                  ISBN:9784480713162 <a href="#">詳細情報へのリンク</a>                  空海の名言に解説と法話を付す名言法話全集。第6巻はさとりをめぐって、言葉ならぬものを言葉にすることの意義を伝える名言を解説。</p>	<p>税込¥2,640</p> 
<p>222</p> 	<p><b>空海名言法話全集空海散歩 第7巻：さとのり風景</b></p> <p>白象の会：近藤堯寛 NDC:188.54                  2021/06 筑摩書房 456 p 46 19cm                  ISBN:9784480713179 <a href="#">詳細情報へのリンク</a>                  弘法大師御誕生千二百五十年に向けて空海の名言2180句に、解説と法話を付けた記念全集第7巻。</p>	<p>税込¥2,640</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>223</p> 	<p><b>真鍋俊照著作集 1：密教の風景 邪教・立川流</b></p> <p>真鍋俊照 2021/01 筑摩書房 ISBN:9784480752314</p> <p>NDC:188.5 416 p A5 22cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>60年に及ぶ密教研究、密教美術研究の集大成。第1巻は、密教の概説の巻になる。「風景学」の視点を導入し、密教の世界観を知るよすがとするために平安時代末期の僧・仁寛の見た原風景の再現を試みる。また、密教の核心に迫ったがゆえに、弾圧を受け消滅せざるをえなかった「真言立川流」の研究を収録する。</p>	<p>税込¥6,600</p> 
<p>224</p> 	<p><b>真鍋俊照著作集 2：密教図像と儀軌の研究抜</b></p> <p>真鍋俊照 2021/06 筑摩書房 ISBN:9784480752321</p> <p>NDC:188.5 448 p A5 22cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>図像は仏画や仏像の源である。本巻は『密教図像と儀軌の研究』より十七篇を厳選し、図像と儀軌の相互関係、変遷を詳細に解明する。</p>	<p>税込¥6,600</p> 
<p>225</p> 	<p><b>風と双眼鏡、膝掛け毛布</b></p> <p>梨木香歩 2020/03 筑摩書房 ISBN:9784480804938</p> <p>NDC:914.6 224 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>地名から喚起され、想起された世界を描くエッセイ集。</p>	<p>税込¥1,650</p> 
<p>226</p> 	<p><b>未知の鳥類がやってくるまで</b></p> <p>西崎憲 2020/03 筑摩書房 ISBN:9784480804945</p> <p>NDC:913.6 220 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「行列」「開閉式」「東京の鈴木」をはじめSF的、幻想的、審美的な10作品を集めた短編集。書下しの表題作ほか本をめぐる物語も。</p>	<p>税込¥1,870</p> 
<p>227</p> 	<p><b>ファルセットの時間</b></p> <p>坂上秋成 2020/07 筑摩書房 ISBN:9784480804952</p> <p>NDC:913.6 183 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>世間の規範やマッチョイズムに抗して、セクシュアリティのエッジを拡張する気鋭の作家が活写する、クィアな欲望とともに生きのびていくためのわたしたちのかたち。おれはきみになりたかったんだ。かつて女装をしていた34歳の竹村は、16歳の“美少女”ユツキと出会う。竹村はユツキを通して自身の理想の女装像を追い求めようとするが。</p>	<p>税込¥1,760</p> 
<p>228</p> 	<p><b>太宰治賞 2020</b></p> <p>筑摩書房編集部 2020/06 筑摩書房 ISBN:9784480804969</p> <p>NDC:913.68 366 p A5 21cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>受賞作「空芯手帳」(八木詠美)と最終候補3作品を収録。荒川洋治、奥泉光、中島京子、津村記久子による選評も掲載。</p>	<p>税込¥1,100</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>229</p> 	<p><b>ちくまさん</b></p> <p>西村ツチカ</p> <p>2020/12 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480804976</p> <p>NDC:726.1</p> <p>128 p A5 21cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>いつもほがらかはつらつちくまさん、今日も世のため人のため、不思議なお仕事がんばります！</p>	<p>税込¥2,090</p> 
<p>230</p> 	<p><b>サンクチュアリ</b></p> <p>岩城けい</p> <p>2020/11 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480804983</p> <p>NDC:913.6</p> <p>160 p 46 20cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>イギリス系の夫、イタリア系の妻、移民の国オーストラリアに暮らす倦怠期の夫婦のもとに、日本人女子学生がホームステイにやってくる。異文化ギャップに軋む家族に、再生はあるのか？『さようなら、オレンジ』著者、書下ろし新作！</p>	<p>税込¥1,595</p> 
<p>231</p> 	<p><b>空芯手帳</b></p> <p>八木詠美</p> <p>2020/11 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480804990</p> <p>NDC:913.6</p> <p>179 p 46 20cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>職場にキレて偽装妊娠。第36回太宰治賞受賞。</p>	<p>税込¥1,540</p> 
<p>232</p> 	<p><b>睦家四姉妹図</b></p> <p>藤谷治</p> <p>2021/01 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480805003</p> <p>NDC:913.6</p> <p>254 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>仕事も恋も活発な長女・貞子、体育会系で素直だが男運の悪い次女・夏子、シニカルだけど憎めない文化系の三女・陽子、未っ子にしてその美貌で誰からも愛され自由に生きる恵美里。時は流れ人は変われど、横浜は戸塚区原宿の睦家に集う女たちの絆は変わらない。熟達の筆致で送るお茶の間平成ヒストリー、ここに開幕！</p>	<p>税込¥1,870</p> 
<p>233</p> 	<p><b>佐野洋子とっておき作品集</b></p> <p>佐野洋子</p> <p>2021/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480805010</p> <p>NDC:918.68</p> <p>240 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>100%新発見作品がいっぱい！！誰も知らない単行本未収録作品が一冊になった。没後10年、ヨコさんは何度でもよみがえる。</p>	<p>税込¥1,760</p> 
<p>234</p> 	<p><b>ぐるり</b></p> <p>高橋久美子（作詞家）</p> <p>2021/04 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480805027</p> <p>NDC:913.6</p> <p>213 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>作家、詩人、作詞家として活躍する著者の初めての小説集、遂に刊行。新たな世界を予感させる19編。</p>	<p>税込¥1,540</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>235</p> 	<p><b>東京のぼる坂くだる坂</b></p> <p>ほしおさなえ</p> <p>2021/05 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480805034</p> <p>NDC:913.6</p> <p>280 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>亡くなるまで坂のある場所ばかり転居を繰り返した父の足跡をたどっていく蓉子。坂のある風景が、父の、母の、そしてわたしのさまざまな人生模様を描き出す。</p>	<p>税込¥1,760</p> 
<p>236</p> 	<p><b>え、この声え？この声え、この声</b></p> <p>渡辺剛太</p> <p>2021/05 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480805041</p> <p>NDC:913.6</p> <p>224 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>売れないピン芸人・根尾の元到大御所声優・田代から人気アニメの声を継いで欲しいというオファーが舞い込む。俳優の夢を諦めて声優として上り詰めた田代に声優一筋になれと言われ続けるが、根尾は芸人として売りたいという夢を捨てきれない。そしてホストとなった元相方もまたコンビ再結成を願っているのだった。元相方のネタにダメ出しをしながら、芸人魂を密かに燃やしていく…。夢を追う若者たちの思いと諦めたものの思いが交錯する物語。最後に何を選ぶのか？</p>	<p>税込¥1,650</p> 
<p>237</p> 	<p><b>太宰治賞 2021</b></p> <p>筑摩書房編集部</p> <p>2021/06 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480805058</p> <p>NDC:913.68</p> <p>293 p A5 21cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>受賞作「birth」（山家 望）と最終候補4作品、選評（荒川洋治、奥泉光、中島京子、津村記久子）、受賞者の言葉などを収録。</p>	<p>税込¥1,100</p> 
<p>238</p> 	<p><b>小鳥たちの計画</b></p> <p>荒内佑</p> <p>2020/04 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480815491</p> <p>NDC:764.7</p> <p>206 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>ceroのメンバーとして活躍する荒内佑がシャープな思考と機知に富んだユーモアで描く初のエッセイ集。人気連載が待望の書籍化。</p>	<p>税込¥1,430</p> 
<p>239</p> 	<p><b>ワイルドサイドをほっつき歩け：ハマータウンのおっさんたち</b></p> <p>プレイディみかこ</p> <p>2020/06 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480815507</p> <p>NDC:302.33</p> <p>251 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>E U 離脱、競争激化社会、緊縮財政などの大問題に立ち上がり、人生という長い旅路を行く中高年への祝福に満ちたエッセイ 2 1 編。第 2 章は、現代英国の世代、階級、酒事情についての著者解説編。</p>	<p>税込¥1,485</p> 
<p>240</p> 	<p><b>日曜日は青い蜥蜴</b></p> <p>恩田陸</p> <p>2020/11 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480815514</p> <p>NDC:914.6</p> <p>235 p 46 20cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>本のこと。舞台のこと。映画のこと。物語のこと。無二の言葉で果てなき世界の「地図」を描く。満を持して放つ、10年ぶりの新刊エッセイ！</p>	<p>税込¥1,870</p> 



筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>241</p> 	<p><b>なりゆきを生きる：「うみの奥山」つづら折れ</b></p> <p>玄侑宗久 2020/05 筑摩書房 ISBN:9784480815538</p> <p>NDC:188.84 240 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>脱力して、流れに身を任せる。東京新聞・中日新聞ほか連載「うみの奥山」待望の書籍化。</p>	<p>税込¥1,760</p> 
<p>242</p> 	<p><b>女ともだち：静代に捧ぐ</b></p> <p>早川義夫 2020/09 筑摩書房 ISBN:9784480815552</p> <p>NDC:767.8 213 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>ある日音楽活動も執筆も全てやめた。妻の病気が判明した日。『たましいの場所』著者が妻に贈るエッセイ。帯文＝宮藤官九郎、神藏美子</p>	<p>税込¥1,650</p> 
<p>243</p> 	<p><b>百年と一日</b></p> <p>柴崎友香 2020/07 筑摩書房 ISBN:9784480815569</p> <p>NDC:913.6 185 p 46 20cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>人間と時間の不思議がここにある。作家生活20周年の新境地。この星のどこかにあった、誰も知らない33の物語。人生と時間を描く新感覚物語集。</p>	<p>税込¥1,540</p> 
<p>244</p> 	<p><b>村度しません</b></p> <p>斎藤美奈子 2020/09 筑摩書房 ISBN:9784480815576</p> <p>NDC:019 317 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>あなたも、わたしも、この国の当事者。自分の言葉で、ちゃんと語るために。考えるためのヒントがいっぱい。激動の時代を、本を読んで考え続けた5年間、42の同時代批評。</p>	<p>税込¥1,760</p> 
<p>245</p> 	<p><b>海をあげる</b></p> <p>上間陽子 2020/10 筑摩書房 ISBN:9784480815583</p> <p>NDC:914.6 251 p 46 20cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>おびやかされる、沖縄での美しく優しい生活。幼い娘を抱えながら、理不尽な暴力に直面してなおその目を光を失わない著者の姿は、連載中から大きな反響を呼んだ。ベストセラー『裸足で逃げる 沖縄の夜の街の少女たち』から3年、身体に残った言葉を聞きとるようになって書かれた初めてのエッセイ集。</p>	<p>税込¥1,760</p> 
<p>246</p> 	<p><b>イルカも泳ぐわい。</b></p> <p>加納愛子 2020/11 筑摩書房 ISBN:9784480815590</p> <p>NDC:779.14 187 p 46 20cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>Aマッソ加納初エッセイ！</p>	<p>税込¥1,540</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>247</p> 	<p><b>言葉にできない想いは本当にあるのか</b></p> <p>いしわたり淳治</p> <p>2020/12 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480815606</p> <p>歌詞、流行語、テレビ、広告から独自の視点で118ワードをピックアップ。刺さる理由を解剖。ロジカルな歌詞解説で話題の作詞家による“アイディア”と“思考”の処方箋。作詞家が“言葉”を語るとこんなに凄い!!!</p>	<p>NDC:914.6</p> <p>238 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p>  <p>税込¥1,540</p>
<p>248</p> 	<p><b>英語のハノン初級：スピーキングのためのやりなおし英文法スーパードリル</b></p> <p>横山雅彦：中村佐知子</p> <p>2021/04 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480815828</p> <p>話したい人のための、待望のドリル！ピアノの教則本「ハノン」の名に由来、英語を自然に話す力がつく学習法、それが「英語のハノン」だ！机上の英文法を、使える英語に高めるための究極パターン・ブラクティス643！</p>	<p>NDC:837.8</p> <p>265 p A5 21cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p>  <p>税込¥1,980</p>
<p>249</p> 	<p><b>東京の生活史</b></p> <p>岸政彦</p> <p>2021/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480816832</p> <p>一五〇人が語り、一五〇人が聞いた東京の人生。</p>	<p>NDC:914.6</p> <p>1211 A5 22cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p>  <p>税込¥4,620</p>
<p>250</p> 	<p><b>仕事のためのセンス入門</b></p> <p>松浦弥太郎</p> <p>2021/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480816849</p> <p>新社会人から経営者まで。今日から始める小さな意識改革。成長をもたらす新しい19の学び。困難をチャンスに変えられる盤石な自分作りを教えます。</p>	<p>NDC:159</p> <p>160 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p>  <p>税込¥1,430</p>
<p>251</p> 	<p><b>沈没家族：子育て、無限大。</b></p> <p>加納土</p> <p>2020/08 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480818539</p> <p>90年代の東京、シングルマザーの加納穂子さんは共同で保育をはじめた。大人になった僕は、かつての保育人たちに出会いなおしていく。家族をめぐる、ちょっと変わった旅の記録。</p>	<p>NDC:379.9</p> <p>240 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p>  <p>税込¥1,760</p>
<p>252</p> 	<p><b>秋吉久美子調書</b></p> <p>秋吉久美子：樋口尚文</p> <p>2020/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480818546</p> <p>インタビュー樋口尚文氏による秋吉久美子ロング・インタビュー、ひとり語りの記録。女優・秋吉久美子のすべて。</p>	<p>NDC:778.21</p> <p>224 p 46 20cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p>  <p>税込¥2,200</p>

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>253</p> 	<p><b>愛をばらまけ：大阪・西成、けったいな牧師とその信徒たち</b></p> <p>上村真也 2020/11 筑摩書房 ISBN:9784480818553</p> <p>NDC:198.321 196 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>いくら裏切られても“愛”をあきらめない、型破りな牧師。居場所をなくし、路地裏の小さな教会にたどり着いた20人の信徒たち。想像をはるかに超える真実の物語。読売新聞連載（大阪本社版）「ハレルヤ！西成メダテ物語」、待望の書籍化！</p>	<p>税込¥1,540</p> 
<p>254</p> 	<p><b>絶滅危惧個人商店</b></p> <p>井上理津子 2020/12 筑摩書房 ISBN:9784480818560</p> <p>NDC:672.136 223 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>あなたの町にもきっとある！素晴らしき個人商店を訪ねて。駄菓子屋から銭湯まで、店主たちのヒストリー。</p>	<p>税込¥1,650</p> 
<p>255</p> 	<p><b>場末のシネマパラダイス：本宮映画劇場</b></p> <p>田村優子 2021/06 筑摩書房 ISBN:9784480818577</p> <p>NDC:778.09 159 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>映写機の光、謎のポスター、100年を超えた建物...映画をめぐる記憶を呼び醒ませ！堂々の大公開。奇跡の映画館へようこそ！</p>	<p>税込¥1,980</p> 
<p>256</p> 	<p><b>隣の国のことばですもの：茨木のり子と韓国</b></p> <p>金智英 2020/12 筑摩書房 ISBN:9784480823816</p> <p>NDC:911.52 288 p 46 20cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>なぜハングルを学び、韓国現代詩の紹介に尽力したのか。『倚りかからず』の詩人に新しい光を当てる意欲作。</p>	<p>税込¥2,420</p> 
<p>257</p> 	<p><b>万葉樵話：教科書が教えない『万葉集』の世界</b></p> <p>多田一臣 2020/12 筑摩書房 ISBN:9784480823823</p> <p>NDC:911.12 318 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>『万葉集』に「犬」は登場しますが、「猫」は登場しません。その理由を知りたい方は、ぜひ本書を繙いてみてください。熟達の木樵が万葉の森から伐り出した極上の話題の木々を披露します。</p>	<p>税込¥2,200</p> 
<p>258</p> 	<p><b>彼女の名前は</b></p> <p>チョ・ナムジュ：小山内園子 2020/09 筑摩書房 ISBN:9784480832153</p> <p>NDC:929.13 240 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>セクハラにあった女性が闘い続ける理由とは？地下2階の部屋に住む女子生徒の悩みとは？胸を打つ28編。</p>	<p>税込¥1,760</p> 




筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>259</p> 	<p>原題: "Moomin and the Sea", "Club Life in Moominvalley", "The Conscientious Moomins", "Moomin's Lamp", "Moomin and the Farm", "Artists in Moominvalley", "Moomins in Battle" (Jansson,Tove;Jansson,Lars)  <b>英語対訳ムーミン・コミックス</b></p> <p>トーベ・ヤンソン : ラルス・ヤンソン NDC:726.1</p> <p>2020/09 筑摩書房 205 p A5 21cm</p> <p>ISBN:9784480832160 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>本邦初公開を含む7つのオリジナル・コミックを日本語訳・注付きで収録。ムーミンと仲間たちの世界が英語で楽しめる!</p>	<p>税込¥1,980</p> 
<p>260</p> 	<p><b>サハマンション</b></p> <p>チョ・ナムジュ : 斎藤真理子 NDC:929.13</p> <p>2021/06 筑摩書房 279 p 46 19cm</p> <p>ISBN:9784480832177 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>超格差社会「タウン」の最下層に位置する人々が住む「サハマンション」とは? 30年前の「蝶々暴動」とは? ディストピアの底辺で助け合い、ユートピアを模索することは可能か?</p>	<p>税込¥1,650</p> 
<p>261</p> 	<p>原題: The Confidence Gap: A Guide to Overcoming Fear and Self-Doubt (Harris,Russ)  <b>自信がなくても行動すれば自信はあとからついてくる : マインドフルネスと心理療法ACTで人生が変わる</b></p> <p>ラス・ハリス : 岩下慶一 NDC:146.8</p> <p>2021/01 筑摩書房 281 p 46 19cm</p> <p>ISBN:9784480843210 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>もしかしてあなたは、自信のなさに悩んでいるのではないだろうか? 人前で話す、リーダーとして人を率いる、誰かをデートに誘う... こうしたときにしり込みしているかもしれない。ではどうするか。著者のラス・ハリスはマインドフルネスと行動心理学から生まれた画期的な心理療法ACTを使って、恐れや不安と戦うことをやめ、自信のなさから逃れる道を示してくれる。</p>	<p>税込¥1,870</p> 
<p>262</p> 	<p><b>ことば力と思考力 : 親子で育てる</b></p> <p>今井むつみ NDC:379.9</p> <p>2020/03 筑摩書房 160 p 46 19cm</p> <p>ISBN:9784480847492 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>たくさん単語を暗記してもことば力は育たない。ことばの意味を自分で考えて覚えれば、ことば力、思考力、学力もアップ。その仕組みと方法をわかりやすく伝えます。</p>	<p>税込¥1,430</p> 
<p>263</p> 	<p><b>その悩み、エピクテトスなら、こう言うね。 : 古代ローマの大賢人の教え</b></p> <p>山本貴光 : 吉川浩満 NDC:131.5</p> <p>2020/03 筑摩書房 224 p 46 19cm</p> <p>ISBN:9784480847508 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>仕事、進路、人間関係...。尽きない悩みも、みるみる氷解。現代人のための、人生哲学の書!</p>	<p>税込¥1,540</p> 
<p>264</p> 	<p><b>現実性の問題</b></p> <p>入不二基義 NDC:104</p> <p>2020/08 筑摩書房 432 p 46 20cm</p> <p>ISBN:9784480847515 <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>現実性こそ神である このテーゼは果たして何を意味するのか? 世界の在り方をめぐる哲学的探究、その最高到達点。</p>	<p>税込¥3,520</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>265</p> 	<p><b>ギリシア哲学史</b></p> <p>納富信留</p> <p>2021/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480847522</p> <p>NDC:131</p> <p>752 p 46 20cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>古代ギリシアにおいて、哲学はどのように始まったのか？そこで哲学者たちは、どのような問いを問い、思索を展開したか？こうした哲学の営みは、いかにして受け継がれてきたのか？資料論・方法論をふくむ最新の研究成果に自配りをし、これまでと大きく異なる枠組みと視点で、ギリシア哲学史の全体を俯瞰。33名の列伝体で描きだす通史。</p>	<p>税込¥4,840</p> 
<p>266</p> 	<p><b>エマニュエル・トッドの思考地図</b></p> <p>エマニュエル・トッド：大野舞</p> <p>2020/12 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480847539</p> <p>NDC:141.5</p> <p>236 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「私が何かについて考える際の軸となっているものは、一つはデータであり、もう一つは歴史です」。これまで、イギリスのEJ離脱、リーマン・ショック、ソ連崩壊など数々の予測的中させてきた、現代を代表する知性、エマニュエル・トッド。なぜ彼だけが時代の潮流を的確に見定め、その行く末を言い当ててきたのか。混迷の時代を見通す真の思考とはいかなるものか。そのすべてを世界で初めて語り明かす。完全日本語オリジナル。</p>	<p>税込¥1,650</p> 
<p>267</p> 	<p>原題:THE ODD MAN KARAKOZOV:Imperial Russia,Modernity,and the Birth of Terrorism (Verhoeven,Claudia)</p> <p><b>最初のテロリストカラコゾフ：ドストエフスキーに靈感を与えた男</b></p> <p>クラウディア・ヴァー・ホーヴェン：宮内悠介</p> <p>2020/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480858191</p> <p>NDC:289.3</p> <p>379 p 46 20cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>一八六六年、一人の男が皇帝を撃った。弾丸はそれだが、世界は大きく変わった。テロリズムが生まれた。</p>	<p>税込¥3,740</p> 
<p>268</p> 	<p>原題:SOMEBODY I USED TO KNOW (Mitchell,Wendy;Wharton,Anna)</p> <p><b>今日のわたしは、だれ？：認知症とともに生きる</b></p> <p>ウェンディ・ミッチェル：宇丹貴代実</p> <p>2020/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480860903</p> <p>NDC:936</p> <p>288 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>日本全国で認知症の患者は400万人、若年性は10万人を超えるるとされる。認知症になった当人は、何をどう感じているのだろうか？彼らに世界はどう見えているのだろうか？著者は58歳で若年性アルツハイマーの診断を受けた。しだいに失われていく記憶、ごく簡単な単語が出てこない、電話のかけ方が思い出せない、右折ができない、今いる場所がわからない。見知らぬはずの世界が、突如知らないものになる恐怖に怯えながらも、著者は残された理性と工夫で、病気を押し返そうとする。自分のことを忘れてしまっても、新しい「私」を楽しませる</p>	<p>税込¥2,200</p> 
<p>269</p> 	<p><b>「色のふしぎ」と不思議な社会：2020年代の「色覚」原論</b></p> <p>川端裕人</p> <p>2020/10 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480860910</p> <p>NDC:491.374</p> <p>348 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「！」の連続。「色の見え方」の先端科学から見えてきた、驚きの世界。前世紀の「色覚」観が私たちにもたらす、いくつかの問題。科学作家が多数の取材・調査をへたどり着いた、まったく新しい地平。「色」に関心のあるすべての人、必読のノンフィクション！</p>	<p>税込¥2,090</p> 
<p>270</p> 	<p>原題:WHAT IS REAL? (Becker,Adam)</p> <p><b>実在とは何か：量子力学に残された究極の問い</b></p> <p>アダム・ベッカー：吉田三知世</p> <p>2021/08 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480860927</p> <p>NDC:421.3</p> <p>480 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>20世紀初頭に発見された量子力学は、世界の見方を根幹から変えた。ではそれはどんな世界なのか？その意味をめぐる議論は、「コペンハーゲン解釈」をもって正統とされる。しかしその解釈にはいくつもの問題がある。最大の謎は、世界を構成する基本物質、原子も電子も素粒子も「実在しない」という主張だ。アインシュタインはこれに猛烈と異を唱え、ポーアと激しい論争を繰り広げた。曖昧な決着のまま、長らくこの問題は問うことすらタブーとされてきた。しかしいま、実在をめぐる論争は、物理学のみならず、哲学者、数学者、天文学者など</p>	<p>税込¥2,750</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>271</p> 	<p><b>そこが知りたい! 発明と特許 (全2巻セット)</b></p> <p>こどもくらぶ 2020/04 筑摩書房 ISBN:9784480864703</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p>	<p>税込¥6,160</p> 
<p>272</p> 	<p><b>性風俗50年 : わたしと昭和のエロ専師たち</b></p> <p>下川 歌史 2020/02 筑摩書房 ISBN:9784480864734</p> <p>NDC:384.7 224 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>戦争、オリンピック、バブル…。されどエロの日々。性風俗研究家が出会った、戦後性相史に残る傑物たち。</p>	<p>税込¥1,980</p> 
<p>273</p> 	<p><b>ラクして稼ぐ不動産投資33の法則 : 成功大家さんへの道は「管理会社」で決まる!</b></p> <p>今井 基次 2021/05 筑摩書房 ISBN:9784480864758</p> <p>NDC:673.9 320 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>自主管理と管理委託本当におトクなのはどっち!? 3万人を超える大家さんと業界人に伝えてきた、管理会社の選び方と付き合い方。</p>	<p>税込¥1,980</p> 
<p>274</p> 	<p><b>未来は予測するものではなく創造するものである : 考える自由を取り戻すためのSF思考</b></p> <p>樋口 恭介 2021/07 筑摩書房 ISBN:9784480864765</p> <p>NDC:914.6 272 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「事例は?」「エビデンスは?」「効果は?」形骸化したルールや管理指標に絡めとられ、日本社会はいま停滞の中にある。イノベーションの経験も、その記憶すらも失われつつある。前例主義は過去を縮小再生産し、過去でできた現在を未来にすりかえる。妄想を、理想を恐れないこと。イシューからはじめないこと。「世界は変えられる」と本気で信じる想像力を持つこと。物語の力とともに、出口の見えない退屈な現実を打破し、自由な思考と戯れるために。</p>	<p>税込¥1,980</p> 
<p>275</p> 	<p>原題:Risk, Uncertainty and Profit (Knight, Frank Hyneman) <b>リスク、不確実性、利潤</b></p> <p>フランク・H・ナイト : 桂木 隆夫 2021/07 筑摩書房 ISBN:9784480867339</p> <p>NDC:331.85 507 p 46 20cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>シカゴ学派の始祖として活躍し、20世紀の社会科学に大きな影響を与えた経済学者フランク・H・ナイト(1885-1972)。自由主義と市場経済を擁護しつつ、自由放任を是とする新自由主義を批判した。本書でナイトは、「リスク」と「不確実性」を峻別し、現実の経済に存在する「不確実性」こそが企業経営における利潤の源泉であると説明する。示唆にあふれ、今なお味読に値する名著が新訳でよみがえる。充実した巻末索引も付載。</p>	<p>税込¥4,950</p> 
<p>276</p> 	<p><b>仁義なき聖書美術 旧約篇</b></p> <p>架神 恭介 : 池上 英洋 2020/03 筑摩書房 ISBN:9784480874054</p> <p>NDC:702.099 162 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>人類リセット大洪水! 息子丸焼き命令! 中間管理職モーセの苦悩! 大親分ヤハウエの気まぐれと暴力が織りなす旧約聖書の世界へようこそ! やくざ風物語と美術鑑賞で、聖書と西洋美術の両方がわかる! 画期的美術読本! !</p>	<p>税込¥1,760</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>277</p> 	<p><b>仁義なき聖書美術：新約篇</b></p> <p>架神恭介：池上英洋</p> <p>2020/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480874061</p> <p>NDC:702.099</p> <p>176 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>幼児大虐殺！十字架刑！そして、やくざ王国の建設！親分イエスと十二人の舎弟の悲喜劇が展開される新約聖書の世界へようこそ！やくざ風物語と美術鑑賞で、聖書と西洋美術の両方がわかる！画期的美術読本！！</p>	<p>税込¥1,760</p> 
<p>278</p> 	<p><b>1894 Visions ルドン、ロートレック展</b></p> <p>三菱一号館美術館：岐阜県美術館</p> <p>2020/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480874078</p> <p>NDC:723.35</p> <p>256 p A4 29cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>あの頃の新しいは、いまも新しい。東洋と西洋の出会い、新奇と伝統の衝突。世紀末バりに花開いた新しい感性は、どんな世界を夢見たのだろうか。新しいを追求しつづけた作家たちの名品が、いま一同に集います。</p>	<p>税込¥2,420</p> 
<p>279</p> 	<p><b>2・5次元クロニクル2017-2020：合わせ鏡のプラネタリウム</b></p> <p>上田麻由子</p> <p>2020/12 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480874085</p> <p>NDC:772.1</p> <p>352 p 46 19cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>熱気が熱気を呼ぶように数々の傑作が花開いた2017～2018年の2・5次元舞台。それをひたむきに追いかけたwebちくま好評連載「2・5次元通信」が、2019年の舞台&amp;2020年を突如襲った災厄と再生のレポート、人気俳優・演出家のインタビューを新たに加えて、待望の書籍化！</p>	<p>税込¥2,200</p> 
<p>280</p> 	<p><b>マイホームの彼方に：住宅政策の戦後史をどう読むか</b></p> <p>平山洋介</p> <p>2020/03 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480879097</p> <p>NDC:365.31</p> <p>368 p 46 20cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「持ち家」の持続可能性を問う。「結婚し、稼ぎ、家を買う」は続くのか？住まいから社会変化をみる。</p>	<p>税込¥3,190</p> 
<p>281</p> 	<p><b>高峰秀子おしゃれの流儀</b></p> <p>高峰秀子：斎藤明美</p> <p>2020/04 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480879103</p> <p>NDC:778.21</p> <p>144 p A5 22cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>「亀の子ダワシ一つ、私の気に入らないものは、この家には何もありません」不世出の大女優が逝って10年、養女が初めて公開するクローゼット、鏡台、着物、手袋、愛車…圧巻の収納。高峰秀子のセンスを凝縮した永久保存版。</p>	<p>税込¥1,980</p> 
<p>282</p> 	<p><b>彗星菓子手製所の和菓子</b></p> <p>彗星菓子手製所</p> <p>2020/09 筑摩書房</p> <p>ISBN:9784480879110</p> <p>NDC:588.36</p> <p>142 p A5 21cm</p> <p><a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>その人の菓子は、口の中を幸福で満たすと、夢のように消えていく。新しい感性が贈る折々の和の菓子59。</p>	<p>税込¥2,310</p> 

筑摩書房の刊行物リストから図書館所蔵済みのタイトルを削ったものです。

<p>283</p> 	<p><b>新傾向入試国語対策問題集：筑摩書房版教科書準拠</b></p> <p>岩間輝生：佐藤弘善 2020/03 筑摩書房 ISBN:9784480910868</p> <p>NDC:810 128 p B5 26cm <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p>	<p>税込¥770</p> 
<p>284</p> 	<p><b>大学入学共通テスト現代文対策問題集：複数資料×最新論点で学ぶ</b></p> <p>笹岡信裕：羽場善明 2020/10 筑摩書房 ISBN:9784480910882</p> <p>NDC:810 256 p A5 21cm <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>共通テストの新傾向問題を、集中的に演習！AI等、入試で頻出の「最新論点」を、図表や会話文も含んだ「複数資料」で読み解く。</p>	<p>税込¥1,210</p> 
<p>285</p> 	<p><b>ちくま評論文の論点21：高校生のための現代文ガイダンス</b></p> <p>五味淵典嗣：松田顕子 2020/10 筑摩書房 ISBN:9784480910899</p> <p>NDC:817.5 192 p A5 21cm <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>評論文は「論点」で攻略せよ。鍵となる「論点」を押さえておけば、初読の評論問題でも対応は格段に楽になる！入試に頻出の論点を網羅した新機軸の評論アンソロジー！</p>	<p>税込¥880</p> 
<p>286</p> 	<p><b>読解評論文キーワード：頻出270語&amp;テーマ理解&amp;読解演習54題 -- 改訂版</b></p> <p>斎藤哲也 2020/10 筑摩書房 ISBN:9784480910905</p> <p>NDC:810 352 p B6 19cm <a href="#">詳細情報へのリンク</a></p> <p>大学入試で問われる論点を精選して解説 入試問題で確認。実用文や文学的文章に対応した語や最新キーワードも収録。図解・図版多数。</p>	<p>税込¥1,034</p> 